



COREL™



AfterShot™ Pro

ユーザーガイド

目次

クイック スタート	1
Corel AfterShot Pro へようこそ	11
Corel AfterShot Pro 作業空間.....	16
非破壊編集を理解する.....	18
ライブラリを理解する.....	20
対応ファイル形式.....	22
ライブラリとカタログ	23
画像をインポートする.....	25
ライブラリを管理する.....	27
ファイル フォルダー モード.....	33
ファイル フォルダー モードで操作する.....	34
写真を編集する.....	35
調整ツールについて.....	36
基本調整.....	38
カラー ツール.....	44
トーン ツール.....	50
詳細ツール.....	51
メタデータ ツール.....	56
プラグイン.....	58
選択調整.....	61
修復とクローンを使用してレタッチする	69
トリミングと傾き補正.....	72
設定	75

設定のコピーと貼り付け.....	79
履歴パレットを使用する.....	79
外部画像エディターで写真を編集する.....	80
整理、キーワード、メタデータ	83
バージョン.....	84
スタック.....	87
サムネイル インジケター.....	90
並べ替えとフィルター.....	91
ラベル、評価、フラグ.....	93
キーワードを使用する.....	95
メタデータを使用する.....	100
メタデータを使用して写真を見つける.....	103
画像を出力する	107
名前を付けてファイルを保存を使用する.....	108
バッチを使用する.....	109
バッチを管理する.....	112
バッチの設定を理解する.....	114
Web ギャラリー.....	121
バッチを使用してファイルをコピーする.....	122
印刷設定	125
印刷バッチを使用する.....	126
印刷バッチを管理する.....	129
印刷設定.....	131

クイック スタート

このセクションでは、Corel® AfterShot™ Pro で実行できる一部の基本タスクについて説明します。アプリケーションをすぐに使用したい場合は、以下の手順に従ってください。数分で終了します。手順には、すぐに使用できるようなショートカットとヒントが含まれています。

メイン手順は、以下の 3 つの手順から構成されています。

1. Corel AfterShot Pro 内に写真を開きます。
2. 写真 (複数可) を選択して編集します。
3. 編集した写真を個々に出力するか、バッチとして出力します。

始める前に、「*Corel AfterShot Pro の作業空間*」を参照して作業空間について理解してください。

手順 1 : Corel® AfterShot™ Pro 内に写真を開く

簡単に開始するには、コンピューターのフォルダーから直接操作します。アプリケーションに慣れたら、**[ライブラリ]** を構築することができます (写真を Corel AfterShot Pro にインポートします)。詳細については、「*ライブラリを理解する*」を参照してください。

写真を開くには

- Corel AfterShot Pro で、**[ファイル フォルダー]** タブをクリックして、**[ディレクトリ ビュー]** 内でフォルダーを選択します。

フォルダーをクリックすると、フォルダー内の写真が **[サムネイル パネル]** に表示されます。



手順 2：写真の選択と編集

画像を表示して調整するには、それらを選択する必要があります。サムネイルパネルにアクティブフォルダー内にある写真のサムネイルが表示されます。サムネイルを選択すると、プレビューパネルに大きな写真が表示されます。写真の編集時、元のファイル（マスターファイル）は変更されません。編集情報は別に保存され、画面の表示はマスターバージョンで、編集を表示するプレビューです。写真全体を編集するか、写真の選択した部分を編集することができます。写真の編集が終了したら、次の写真へ移動するか、新しいバージョンとして変更を保存することができます。つまり、元のファイルの変形として編集をキャプチャします。そのバージョンをサムネイとして、または[プレビューパネル]に表示することができます。それを出力することもできます。


写真をプレビューおよび選択するには

1. [ファイル フォルダー] タブをクリックします。
2. 必要なフォルダーへ移動します。[サムネイル パネル] にそのフォルダー内にある写真が表示されます。

3. サムネイルをクリックすると、[プレビュー パネル] にそれを表示することができます。

編集を開始する前に、ファイルのマスターバージョンに直接編集を表示するかどうかを選択することができます。Insert キーを押すか、サムネイルを右クリックして、[バージョン] > [デフォルトから新規バージョン] の順に選択して選択します。

さらに以下を行うことができます

サムネイル間の簡単なスクロール	「[]キーや「]」キーを押します。
プレビュー パネルで複数の写真(またはバージョン)を比較する	複数の画像を選択した状態で [マルチ画像ビューを切り替える] ボタン  をクリックして (または、M キーを押す)、サムネイルを Ctrl キーを押したままクリックするか、 Command を押したままクリックします。[プレビュー パネル] に選択した写真が表示されます。 また、 Shift キーと矢印キーを使用して連続した写真を選択することもできます。 これは、類似した連続写真内から最高の写真を選択してフラグ付けするのに便利です。写真のフラグ付けと組織化についての詳細は、「整列、キーワード、メタデータ」を参照してください。
すべてのサムネイルを選択する	Ctrl + A 、または Command-A を押します。
サムネイルの選択を解	[サムネイル パネル] の背景部分をクリックするか、 Ctrl + D または Command-D を押します。



さらに以下を行うことができます


除する

メモ： 選択する最後の画像は、[アクティブ] 画像と呼ばれます。
[マルチ画像ビュー] モード時では、メタデータの変更、調整、その他編集はアクティブ画像にだけ適用されます。

写真を編集するには

1. [参照パネル] 内で、必要なフォルダーに移動します。
[サムネイル パネル] にそのフォルダー内にある写真が表示されます。
2. サムネイルをクリックすると、[プレビュー パネル] にそれを表示することができます。
3. 以下の表のいずれかの編集操作を試してください。

操作内容	手順
フラグまたはキーワードを追加する (例えば、メタデータを追加する)	<ul style="list-style-type: none">• フラグ — サムネイルをクリックして、トップ ツールバーにある [フラグ (ピック)] ボタン  をクリックするか、「,」(ピリオド キー) を押します。写真を却下としてマークするには、 [フラグ (却下)] ボタン  をクリックするか、「,」(コンマ キー) を押します。• キーワード — [ツール パネル] で、[メタデータ] タブ をクリックし、[キーワード] ボックス内をクリックして、キーワードを入力します。複数のキーワードの場合はコンマで区切ります。
写真をトリ	[AfterShot Pro ツールバー] ([プレビュー パネル] の

操作内容	手順
ミングする	下にある) で、[トリミング] ツールをクリックします。[トリミング] パレットで、必要な設定を調整し、[プレビュー パネル] で、維持する部分の上にトリミング部分をドラッグします。[トリミング] パレットで、[終了] をクリックします。
画像全体の色、トーン、鮮明度を調整する	[ツール パネル] で、[標準] タブをクリックして、[基本調整] セクションで必要に応じて設定を調整します。
選択した部分だけを編集する	<ol style="list-style-type: none"> 1. ウィンドウの右上隅にある [レイヤー マネージャーを開く] ボタン  をクリックします。 2. [レイヤー] パレットで、パレットの上にある [+調整] ボタンをクリックします。新しい編集レイヤーが作成されます。 3. [円形領域] ツールのような領域ツールをクリックして、調整する部分をクリックし、[サイズ]、[境界をぼかす]、またはその他設定を、[レイヤー] パレットで調整します。 4. [ツール パネル] の [基本調整] セクション内で、必要に応じていずれかの設定を調整し、その変更を現在のレイヤーの選択した部分に適用します。


ヒント： 操作を元に戻すのに便利な方法がいくつかあります。以下はその一部です。お試しください。

- 一度に 1 つの操作を元に戻すには、**CTRL + Z**、または **Command -Z** を押します。

- [ツール パネル] のスライダーを元の設定に戻すには、スライダー名をダブルクリックします。
- 写真に行ったすべての変更をクリアするには、サムネイルを右クリックして、または Control キーを押したままクリックして、[設定] > [デフォルト設定を適用] をコンテキスト メニューから選択します。

新しいバージョンに編集を表示するには

- [サムネイル パネル] で、編集した画像 (マスター バージョン) を右クリックするか、**Control** キー を押したままクリックして、コンテキスト メニューから [バージョン] > [現在から新規バージョン] の順に選択します。

メモ： サムネイルの右上隅の [編集] アイコン  で、編集した写真を確認することができます。

新しいサムネイルがマスター バージョンのサムネイルの横に表示されます。デフォルトでは、バージョンは以下の名前付け規則を使用します。元のファイル名 + バージョン番号 (_v2、_v3 等)。



同じマスター ファイルに準拠した 3 つの編集バージョン

マスター バージョンに戻って、新しい方法で編集し別のバージョンを作成することができます。元の設定から始めるには、サムネイルを右クリックするか

Control キー を押したままクリックし、コンテキストメニューから **[設定] > [デフォルト設定を適用]** の順に選択して、マスター バージョンへ行った編集をクリアします。

ヒント： マスター バージョンの編集の前または後に新しいバージョンを作成するかどうかは、ワークフローによって異なります。例えば、最初から複数のバージョンを作成することが分かっている場合は、編集を開始する前にバージョンを作成することができます。それにより元の画像の外観を常に確認することができます。写真を簡単に修整する場合は、マスター バージョンを編集することができます。必要に応じて他のバージョンを作成できます。Corel AfterShot Pro での編集は非破壊的なので、非常に柔軟に行うことができます。

写真の編集についての詳細は、「[写真を編集する](#)」を参照してください。

手順 3：共有と印刷用に写真を出力する

写真を整理して編集したら、写真を出力して作品を共有することができます。出力することで、写真を標準ファイル形式に保存して、Web や電子メールで作品を共有したり、別のアプリケーションでファイルを使用することができます。さらに印刷するファイルを出力することもできます。バッチと呼ばれる多数の写真の標準出力方法があります。出力を簡単に行うことができ、カスタム バッチも作成することができます。例えば、ファイルの種類、画質、色空間、画像サイズを選択することができます。さらに、画像の出力時ファイルの名前を変更するための名前付け規則を設定して、設定を適用することもできます。出力についての詳細は、「[画像を出力する](#)」を参照してください。



簡単に開始するために、標準バッチを使用して JPEG に保存して 5 x 7 インチの 2 枚の写真を印刷してみましょう。

フルサイズの JPEG に出力するには

1. [サムネイル パネル] 内で、出力する写真を選択します。
2. 以下のいずれかを行います。
 - [参照パネル] で、[出力] タブをクリックし、[バッチ出力設定] セクションで、サムネイルを [JPEG フル サイズ] ヘドラッグします。
 - F キーを押します ([JPEG フル サイズ] バッチに割り当てられたショートカット キー)
3. [目的の場所を選択] ダイアログボックスで、ファイルを保存するフォルダーを選択します。

保存先フォルダーを選択すると、保存先を変更するまでそのフォルダーにファイルが自動的に保存されます。保存先を変更して他の出力設定を使用する場合は、[バッチ出力設定] または [印刷設定] のセクション内のバッチ名をダブルクリックします。

標準印刷サイズに印刷するには

1. [サムネイル パネル] で、印刷する 2 枚の写真を選択します。
2. [参照パネル] で、[出力] タブをクリックし、[印刷設定] セクションで、サムネイルをバッチ名 (例えば、5x7 数量、2) にドラッグします。
3. [印刷設定] ダイアログボックス内に印刷ジョブをプレビューするには、バッチ名をダブルクリックします。
4. [印刷レイアウト] セクション内で、[スケール トリミング] または [ス

ケール減少] オプションを有効にし（写真を選択した印刷倍率に合わせて）、結果をプレビューします。

5. 左下隅にあるドロップダウン リストからプリンターを選択します。
6. **[印刷]** をクリックします。

補足

基本操作について説明してきました。さらに詳しい情報は、以下の追加トピックを参照してください。

- **ライブラリを理解する**
- **ライブラリを管理する**
- **写真を編集する**
- **整理、キーワード、メタデータ**
- **画像を出力する**

Corel AfterShot Pro へようこそ

Corel® AfterShot™ Pro とは？

Corel AfterShot Pro は、RAW 形式、JPEG、TIFF などのデジタル写真用の高速で、柔軟性の高いワークフロー アプリケーションです。Corel AfterShot Pro は、写真の組織化、最適化、出力機能から構成されています。個々の写真やパワフルで柔軟性のある複数画像の処理オプションを使用して操作することができます。写真の調整および出力ができるので、印刷したり、電子メールや Web でそれらを共有することができます。Corel AfterShot Pro は完全非破壊で、元の画像は常に安全です。Corel AfterShot Pro はスタンドアロンで、またはお気に入りの画像編集ソフトウェアと一緒に使用することができます。

このユーザー ガイドとは？

このユーザー ガイドでは、すぐに使用開始するための基本について説明します。クイック スタート セクション、アプリケーションの機能、およびその説明から構成されています。このユーザー ガイドでは、アプリケーション内から利用できる [ヘルプ] で使用できるすべての情報一式について説明します。学習リソースの完全リストは、メニュー バーから [ヘルプ] > [AfterShot Pro ラーニング センター] の順に選択してください。

画像編集ソフトウェアと Corel AfterShot Pro の違いは？

従来の画像編集ソフトウェアの機能の他に、Corel AfterShot Pro 独自の機能がいくつかあります。これらの違いを確認しましょう。

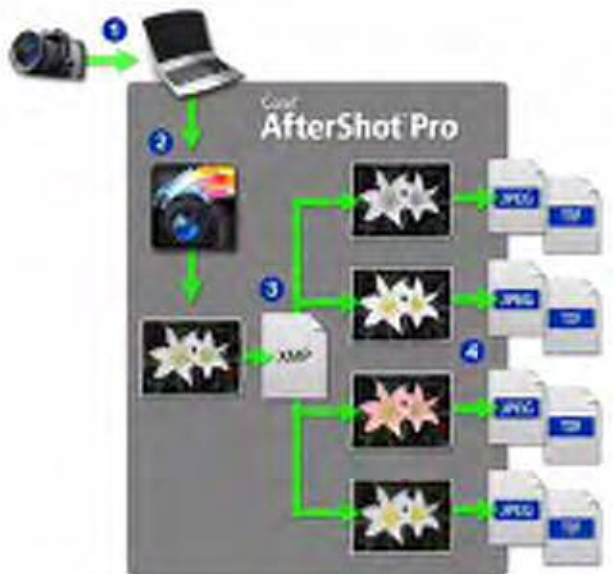
操作	従来の画像エディター	Corel AfterShot Pro
編集するファイルを開く	[ファイル] > [ファイルを開く] の順に選択して、ファイル (複数可) を開きます。	ワークフロー アプリケーションなので、通常フォルダーを使用します。従って、[ファイル フォルダー] タブをクリックして、フォルダーをクリックします。次に、フォルダーを右クリックして [ライブラリ] にインポートするか、サムネイルをクリックして編集を開始します。
ファイルを編集する	開いているそれぞれのファイルの編集を開始して、終了するとその編集情報はファイルへ保存されます。	編集を開始して、各写真の変形 (バージョン) を作成します。変更は自動的にサイドカー ファイル (XMP) に自動的に保存されるので、元のファイルはそのまま維持されます。編集セッション間でも、実際に試すことができます。
ファイルを保存する	通常出力する各ファイルで、[ファイル] > [名前を付けてファイルを保存] の順に選択して、必要に応じたファイル形式 (JPEG 等) に保存します。既存のファイルに上書きするか、新しいファイルを作成します。	必要に応じてサムネイル (写真の外観) を選択し、標準の JPEG に保存するには、F キーを押します。TIFF の場合は T キーを押します。新しいファイルが作成されます。元のファイルはそのまま維持されません。 *AfterShot Pro では、1 回で複数のファイルを出力できます。出力をカスタマイズできる豊富な設定を利用できます。

写真のワークフローとは？

写真のワークフローは、最初の画像のキャプチャと最終の写真出力の間に行うすべての操作を表します。写真家は、それぞれ異なるワークフローを持っていて、撮影する写真の量や写真の使用目的によって異なります。カメラのメモリーカードから画像をダウンロードして、コンピューターに接続されているプリンターへそれらを印刷するだけの簡単なワークフローの場合があります。写真のワークフローには、以下のいずれかが含まれている場合があります。

- キーワードや星評価の追加などの組織化タスク。画像を検索および並べ替えを行うことができます
- 写真の編集と調整。写真の補正、改善、創造的な操作を行います
- 写真のバックアップと保管
- 電子メールや Web 上での写真の共有
- 写真の印刷 — 自宅で、オンライン印刷サービスを介して、出力センター、製版業者へ印刷依頼。

Corel AfterShot Pro はさまざまなワークフロー オプションと作業スタイルに対応しており、短時間で写真から最高の品質を得ることができます。



写真ワークフロー: 1. 写真をカメラからコンピューターへ転送します。2. 写真を Corel AfterShot Pro にインポートします。3. 写真を編集していくつかのバージョンを作成します。4. バージョンを JPEG または TIFF ファイルへ出力します。

Corel AfterShot Pro は、**[アセット管理]**、**[画像編集]**、および **[出力生成]** の 3 つのワークフローから構成されています。



[アセット管理] では、元のデジタル写真をマスター ファイルとして分類し、写真のメタデータを表示、追加、参照、検索することができます。写真ライブラリの写真数が数百から数千に増加した場合、整合性があり、組織化

され、検索可能なライブラリを維持することが重要になります。Corel AfterShot Pro には、現在の写真をカタログ化するのに必要なツールがすべて装備されており、ライブラリに簡単に追加することができます。



【画像編集】では、露出、ホワイトバランス、詳細、ゆがみなどの要素を調整および補正することができます。写真全体または選択した部分に適用できるさまざまな編集機能で創造力を得ることができます。例えば、選択編集を使用して、写真内の任意の色の領域を選択して、写真の他の領域に影響させないでその領域に色を適用することができます。



【出力生成】では、Corel AfterShot Pro で作成した写真を共有することができます。写真を、印刷、電子メール、または Web での共有が可能なさまざまな形式で出力することができます。パワフルなバッチ変換機能では、複数画像処理を利用することができます。

Corel AfterShot Pro 作業空間

Corel AfterShot Pro 作業空間は、次の要素から構成されています。



1. メニューバー

メニューバーは、一般的な機能や特徴にアクセスするために使用します。例えば、フォルダーのインポート、環境設定の指定、ヘルプへのアクセスなどが行えます。

2. 参照パネル

参照パネルは、写真の主なアクセスポイントです。このパネルには、ライブラリ、ファイルフォルダー、出力のページタブがあります。一部のページはさらにセクションに分かれています。例えば、[ライブラリ] ページはカタログセクションとメタデータブラウザーセクションで構成されています。参照パネルは、画像の

表示領域を広げるために非表示にすることができます。参照パネルのタブの上部にある左矢印をクリックして、このパネルを非表示または表示します。

3. サムネイル パネル

メイン Corel AfterShot Pro ウィンドウ上部のこのパネルには、参照パネルで選択された、フォルダー、コンテナ、検索または参照カテゴリのサムネイルが表示されます。フォルダー内のすべての画像がサムネイル パネルに表示されますが、サムネイル パネルにフィルターを使用すると、特定の条件セットに一致する画像だけを表示できます。このパネルには次のツールバーがあります。

4. サムネイル サイズ ツールバー

このツールバーでは、サムネイル パネルのサムネイルのサイズを調整できます。



5. AfterShot Pro ツールバー

このツールバーには、プレビュー パネルの編集ツールや表示オプションが含まれています。



6. プレビュー パネル

プレビュー パネルには、サムネイルで選択した写真の大きな画像を表示できます。マルチ画像ビューをアクティブにすると、選択したすべてのサムネイルのプレビューがプレビュー パネルに表示されます。画像調整を表示して、選択した画像をズームインまたはズームアウトできます。

7. ツール パネル

[参照パネル]と同様に、[ツール パネル]にはいくつかのセクションから成るページのタブがあります。例えば、[標準] ページには [ヒストグラム]、[基本調整]、[設定] のセクションがあります。セクションを固定すると、どのタブをクリックしても表示を維持できます。

[ツール パネル] を非表示にして、画像表示に使用できる領域を増やすことができます。[ツール パネル] のタブの上部にある左矢印をクリックして、このパネルを非表示または表示します。

8. トップ ツールバー

このツールバーには、検索、メタデータ、レイヤー、および表示の各種コマンドが含まれています。



Corel AfterShot Pro 作業空間は、さまざまな方法で調整やカスタマイズが行えます。詳細については、「作業空間を調整する」を参照してください。

非破壊編集を理解する

Corel AfterShot Pro は非破壊画像エディターです。そのため、Corel AfterShot Pro で画像を調整しても、元の画像データは変更されません。元のバージョンに戻ることができるので、自由に、必要なだけ実験を行うことができます。非破壊画像エディターでは、作成された調整はサイドカーの XMP ファイルか、Corel AfterShot Pro のカタログ データベース内、あるいはその両方に保存されます。このため、作業内容を共有したり、エクスポートする準備が整ったら、希望するバージョンを標準的なファイル形式に出力する必要があります。

Corel AfterShot Pro で写真を編集すると、新しいバージョンが作成され、行った調整がそこに含まれます。Corel AfterShot Pro では、1 枚の写真

に対して複数セットの画像調整が可能なため、1 つの画像から多数のバージョンを効率的に作成できます。新しいバージョンを作成すると、元のマスターファイルのコピーは作成されませんが、異なる画像調整やメタデータを同じマスターファイルに適用できます。

XMP ファイル

Corel AfterShot Pro は、他の一般的な画像エディターや写真管理アプリケーションとは多少異なり、設定を XMP ファイルに保存します。これにより、Corel AfterShot Pro は、他のアプリケーションで作成された設定が上書きされるのを防ぎ、現行の XMP 規格に特有の制限（一度に 1 つのバージョンからしかエクスポートできない、または RAW+JPEG のペアとしてカメラで作成された RAW ファイルや JPEG の異なる設定を保存できない、などの制限）を回避します。

Corel AfterShot Pro は、わずかに異なる類似のファイル名を使用して、この機能強化された XMP データを保存します。XMP ファイル名は、記述する画像ファイルのファイル名の後ろに ".xmp" のみを追加して作成されます（一方、他の多くのアプリケーションは、XMP ファイル名を画像ファイルの拡張子 ("jpg"、"nef" または "cr2" など) を省略してから、"xmp" を追加します）。従って、Corel AfterShot Pro の XMP ファイルは **img_0000.jpg.xmp** になり、同じ画像での他のアプリケーションの XMP は **img_0000.xmp** になります。

Corel AfterShot Pro では、他のアプリケーションが読み取る「標準の」XMP ファイルを作成できます。ただし、これは他のアプリケーションが調べる設定を XMP 規格によって正式に提案されているもの（画像ファイル当たり 1 セットのメタデータ）に制限します。

共有 XMP データ

他のアプリケーションは、画像の調整をサイドカーの XMP ファイルに保存し、他のアプリケーションに追加されたメタデータは Corel AfterShot Pro にイン

ポートできます。これらには以下が含まれます：

- 星評価
- カラー ラベル
- フラグ (他のアプリケーションでは「ピック」や「セレクト」と呼ばれる)
- キーワードとカテゴリ
- IPTC および EXIF データ

同様に、これらの設定のいずれかが Corel AfterShot Pro で画像に適用されると、このデータはその画像用の XMP ファイルに書き戻されます。多くのアプリケーションでは、XMP ファイルの設定を内部データベースに保持された設定と「同期」できます。この「同期」処理が完了すると、Corel AfterShot Pro で行われた調整はそれらのアプリケーションにも表示されます。

詳細については、「整理、キーワード、メタデータ」を参照してください。

ライブラリを理解する

[ライブラリ] は、写真のカタログを保存する場所です。アセット [管理] システムの主要部分です。マスター ファイル (元の写真) と、作成したすべてのバージョンを利用することができます。写真のメタデータと読み取って、関連付けられたメタデータに従って写真を検索および参照することができます。

このセクションの情報とインポートについては、「[画像をインポートする](#)」を参照してください。

Corel AfterShot Pro ライブラリとカタログ

Corel AfterShot Pro のアセット管理機能を使用するように選択する場合は、最初に画像をカタログにインポートします。このカタログは、写真のデータとメタデータが保存される場所です。ライブラリは、1 つまたは複数のカタログから構成されており、以下のようなデータが保存されます。

- 元のマスター ファイル (パス情報とファイル情報) へのリンク
- 画像検索と参照するためのメタデータ

- 画像調整設定と全編集履歴
- プレビューとサムネイル
- カタログ固有の設定

アセット管理はオプションです

写真をライブラリにインポートすることをお勧めしますが、絶対ではありません。ライブラリにファイルを追加しないでも RAW ファイル変換機能を使用すれば写真を表示および編集できます。手順は、[ファイル フォルダー] タグをクリックして、[ディレクトリ ビュー] に写真を移動します。

写真をインポートしない場合

以下は、写真をインポートしないように選択した場合の例です。

- メモリー カードや他のストレージ デバイスにある写真を確認する場合。例えば、友人のメモリー カードからいくつか RAW ファイルを得る場合は、[ファイル フォルダー] タブを使用して写真を検索して表示します。必要な写真だけをコンピューターにコピーして、これらの写真をインポートすることができます。
- 既にアセット管理アプリケーションがあるので変えたくない場合。例えば、画像フォルダー構造をコピーして構築するサードパーティーのソフトウェア。
- インポートする必要がある写真がたくさんあって、簡単に速く行いたい場合。

写真をライブラリへインポートした後に使用できる機能

写真をライブラリ内のカタログへインポートした後、以下の機能が完全に使用できるようになります。

- **複数フォルダーの参照** — 複数フォルダーを選択し、フォルダーとサブフォルダー内のすべてのサムネイルを 1 つのフラット ビューに表示します。
- **全編集履歴** — 写真とバージョンへのそれぞれの変更の編集ログが維持

されます。写真をインポートしない場合は、現在のセッションだけの編集ログが維持されます（アプリケーションが終了すると、ログがクリアされます）。

- **画像検索** — ファイル名、EXIF、IPTC、またはその他メタデータを検索して画像を検出します。
- **メタデータの参照** — EXIF、IPTC、またはその他メタデータを使用してカタログを参照します。
- **画像スタック** — 1 つ、または複数のマスター ファイルのバージョンをまとめてスタックにグループ化します。
- **オフライン画像参照** — CD、DVD、または外部ハード ドライブのようなオフライン メディアに保存されている画像を検索および管理します。
- **初期の画像設定** — Corel AfterShot Pro は、それら画像のインポート時に、各画像で検出された最初の調整一式を保存して、いつでもこれら設定をすばやく元に戻すことができます。初期設定はインポート時のデフォルト設定か、別のコンピューターの Corel AfterShot Pro によって、または画像をライブラリにインポートする前に行われた編集または調整である可能性があります。

対応ファイル形式

さまざまなファイル形式の読み取り（開くと表示）、または書き込み（保存とエクスポート）ができます。

さまざまなデジタル カメラの RAW ファイル に対応しています。以下の表は、対応カメラのリストですが、最新カメラのリストは、www.corel.jp へアクセスして、[サポート] ページから [ナレッジベース (FAQ)] をクリックしてください。製品名を入力して **RAW** を検索してください。

ライブラリとカタログ

このセクションでは、以下について説明します。

- ライブラリ
- カタログの作成

ライブラリについて

ライブラリは、写真のカタログを保存する場所です。アセット管理システムの主要部分です。マスター ファイル (元の写真) と、作成したすべてのバージョンを利用することができます。

カタログは、写真と関連する画像データを集めたものです。基本的には、カタログは Corel AfterShot Pro 内で管理されるデータベースです。カタログには、マスター ファイル、サムネイルおよびプレビュー画像、画像設定、画像調整、カタログ固有の環境設定が含まれます。

[ライブラリ] は、[参照パネル] から利用できます。[ライブラリ] ページには [カタログ] セクションがあり、インポートでカタログ化したすべてのフォルダーと写真をリストします。ライブラリへのインポートについての詳細は、「[画像をインポートする](#)」を参照してください。



参照パネルのライブラリ ページには、検索ボックス、カタログ セクション、メタデータ ブラウザーがあります。

カタログについて

画像が Corel AfterShot Pro カタログに初めてインポートされると、その画像に使用された初期設定が Corel AfterShot Pro XMP ファイル (存在する場合) から取得されます。Corel AfterShot Pro XMP ファイルが見つからない場合は、メタデータ設定 (キーワード、評価、ラベル、IPTC または XMP タグ) が標準 XMP ファイルまたは画像ファイル自体から読み込まれます。

カタログ対 XMP

画像が Corel AfterShot Pro のカタログにインポートされると、画像およびメタデータ設定への変更は Corel AfterShot Pro のカタログ内に保存されます。変更を AfterShot Pro XMP ファイルに手動で書き戻すには、希望する画像のサムネイルを選択し、サムネイルのいずれかを右クリックして、**[XMP] > [AfterShot XMP ファイルを書き込む]** の順に選択します。または、AfterShot Pro が常に XMP ファイルを更新するように設定できます。これを行うには、環境設定の **[全般]** で、**[カタログ内の写真の AfterShot .xmp 自動作成を許可]** チェックボックスを有効にします。

複数のカタログ

ほとんどの人が 1 つのカタログを簡単に操作できます。すべての写真は既定のカタログにインポートされるので、検索やフィルター処理により、カタログ内の希望する写真を簡単に見つけることができます。ただし、仕事用と個人用など、異なる理由で写真を撮る場合は、カタログを分けることができます。Corel AfterShot Pro では、多数のカタログを作成し、ライブラリから同時に開いて、操作することができます。これにより、参照、検索、開いたカタログの画像へのアクセスなどの機能を保持しながら、バックアップをグループ化したり、ファイルのセットをカタログとして管理できます。カタログの作成についての詳細は、「**カタログを管理する**」を参照してください。

画像をインポートする

画像を Corel AfterShot Pro にインポートすると、カタログに追加されます。1 つのフォルダーとそれに含まれているすべてのサブフォルダーを含んだフォルダー全体をインポートするか、1 つのフォルダー内のいくつかのファイルを選択してインポートすることができます。

インポートは、自分で制御する処理です。コンピューターに新しいフォルダーや

サブフォルダーを追加する場合は、**[ライブラリ]**に追加する新しいフォルダーをインポートする必要があります。既存のフォルダー構造に複数のサブフォルダーや個々の画像を追加した場合は、ルートフォルダーから再度インポートしてすべての新しい項目をキャッシュすることができます。複数回同じソースの場所から写真をインポートする場合は、エントリーが作成されていないカタログを複製します。

フォルダーをインポートするには

1. 以下のいずれかを行います
 - **[ファイル]** > **[フォルダーから写真をインポート]** の順にクリックします。ダイアログボックス内で、必要に応じてフォルダーに移動して、**[フォルダーを選択]** ボタンをクリックします。
 - **[参照パネル]** で、**[ファイル フォルダー]** タブをクリックし、**[ディレクトリ ビュー]** で、必要なフォルダーを右クリックして、コンテキストメニューから **[インポート フォルダー]** を選択します。
2. **[写真をインポート]** ダイアログボックスで、**[ソース フォルダー]** ボタンにフォルダー名が表示されていることを確認します。
サブフォルダーを含むには、**[サブフォルダー内の画像を含む]** チェックボックスを選択します。
3. **[カタログにインポートする]** の横のボタンをクリックしないと、既定のカタログを使用し、ボタンをクリックすると新しいカタログを作成します。
4. (オプション) **[インポート設定を適用]** チェックボックスを選択して、フォルダー内のすべての写真に適用するキーワードを入力します。さらに、同じ方法で設定を適用することもできます。
5. **[インポートを開始]** をクリックします。

メモ： フォルダー内のすべての写真はカタログ化されます。カタログを確

認するには、[ライブラリ] タブをクリックして、[カタログ] パネル内のフォルダーに移動します。ファイルがカタログ化されている場合は、コピーされません。元の場所から参照されます。

ヒント：フォルダー内のすべての写真をインポートしない場合は、フォルダーを開いて、[サムネイル] パネルで、インポートする写真のサムネイルを選択します。[ファイル] > [選択したファイルをインポート] の順にクリックし、[写真をインポート] ダイアログボックス内で必要なインポート設定を選択します。



[写真をインポート] ダイアログボックス

ライブラリを管理する

[ライブラリ] は、カタログと、各カタログに含まれていファイルとバージョンから構成されています。一度に複数のファイルを移動、コピー、名前の変更、削

除して整理することができます。また、複数のカタログを作成して【ライブラリ】を管理して、カタログを開いたり閉じたりして使用するカタログを管理することもできます。

バージョンについての詳細は、「バージョン」を参照してください。

バージョンの移動とコピー

バージョンを新しい場所に移動したりコピーしたりできます。

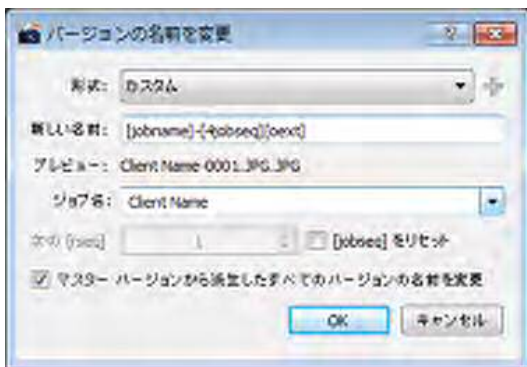
メモ：バージョンを移動またはコピーすると、マスターファイルと関連するバージョンがコピーまたは移動されます。

バージョンを移動またはコピーするには

- 以下のいずれかを行います。
 - バージョンを削除するには、サムネイルを【サムネイル】パネルから、【参照パネル】で選択したフォルダーにドラッグします。
 - バージョンをコピーするには、**Control** キーまたは **Command** キーを押したまま、サムネイルを【サムネイル】パネルから、【参照パネル】で選択したフォルダーへドラッグします。

バージョンの名前を変更

整合性のある形式で一度に複数のバージョンの名前を変更する場合は、名前変更形式を使用して名前を変更するように選択することができます。



[バージョンの名前を変更] ダイアログボックスは、以下のコントロールと機能から構成されています。

- **形式**：既存の形式のリストから選択します。
- **新しい名前**：名前変更形式を入力します。例えば、[jobname] または [jobseq] を [新しい名前] ボックスに使用する場合は、[ジョブ名] を入力します。順序フィールド [jobseq] には、このジョブ名の以前の名前変更で使用した最後の番号が保存されており、中止されたところから番号付けを続けます。
- **次の [rseq]**：[新しい名前] フィールドに [rseq] を追加すると、テキストが一意的な増分連番に置き換えられます。番号は次にバージョンの名前を変更する時にリセットされます。このコントロールでは番号を設定することができます。
- **[jobseq] をリセット**：選択したジョブ名順序の番号付けを再開します。
- **マスターバージョンから派生したすべてのバージョンの名前を変更**：マスターバージョンと同じ名前を持つすべての関連するバージョンに

順次番号付けする場合にこのチェックボックスを選択します (各バージョンに「_v1」、「_v2」を追加する)。このオプションを選択しない場合は、各バージョンには一意の名前が付けられます。

名前変更形式の使用についての詳細は、「[名前変更形式](#)」を参照してください。

バージョンの名前を変更するには

1. 名前を変更するバージョンのサムネイルを選択します。
2. F2 キーを押すか、右クリックして **[バージョン] > [バージョンの名前を変更]** の順に選択します
3. **[新しい名前]** フィールドを、テキストを使用するか、[date] のような 名前変更形式を使用して編集します。または、既存の **[名前変更形式]** を **[形式]** ドロップダウン リストから選択します。

[プレビュー] は、**[新しい名前]** フィールドの変更に応じて更新され、名前変更形式の結果を表示します。

バージョンの削除

いつでもマスター バージョン (元の写真やマスター ファイル) を削除できますが、マスターを削除すると別のタイプのバージョンにさまざまなことが起こります。

マスター バージョンを削除する

マスター バージョンを削除する場合、関連するすべてのバージョンも削除されます。元のマスター ファイルはコンピューターのごみ箱に移動されます。各操作を確認するために表示されるメッセージを確認します。

マスター バージョン以外を削除する

マスター バージョン以外のバージョンを削除する場合は、元のマスター ファイルへの影響はありません。バージョンのサムネイルと関連データはサイドカー XMP ファイルから削除されます。

メモ：[マルチ画像ビュー] が有効な場合は、選択全体ではなく 1 つのアクティブ バージョンのみが削除されます。

マスター ファイルやバージョンを削除するには

- 削除するマスター バージョンのサムネイルを選択して、以下のいずれかを行います。
 - Delete** キーを押します。
 - 選択したサムネイルを右クリックして、または Control キーを押したままクリックして、[バージョン] > [バージョンを削除] の順に選択します。

マスター バージョンを選択すると、マスター バージョンの元のファイルはごみ箱に移動されるという警告のメッセージが表示されます。

ファイルフォルダーモード

ファイルフォルダーモードでは、非カタログの写真を使用したり編集することができます。コンピューターで対応している画像ファイルを、画像をカタログにインポートしないで簡単に使用できます。保存しない写真を使用するのに便利です。但し写真をインポートしない場合は、Corel AfterShot Pro カatalog内の画像を使用する場合にだけ有効な機能が使用できなくなります。ファイルフォルダーモードで写真を使用する場合、後でカタログに写真をインポートするオプションを使用できます。

ファイルフォルダーモードについての詳細は、「[ライブラリを理解する](#)」を参照してください。

ファイルフォルダーモードでの画像設定

[ファイルフォルダー] モードは永久カタログを維持しないので、画像調整とメタデータ設定は、調整の度に Corel AfterShot Pro XMP ファイルへ書き込まれます。新しいフォルダーを参照する度に、Corel AfterShot Pro はフォルダーをスキャンして、コンピューターから削除された Corel AfterShot Pro のファイルを削除し、検出された新しい画像を追加し、既存のすべてのファイルの設定を XMP ファイル内の最新設定へ更新します。これにより、ファイルフォルダーモードの Corel AfterShot Pro の表示内容が、コンピューターに保存されている内容とまったく同じになります。つまり、編集履歴 ([履歴] パレット内に表示) は、セッションごとによりセットされます。

メモ： [ファイルフォルダー] モードと [ライブラリ] モードで編集する場合、問題が発生する場合があります。[ファイルフォルダー] モードと [ライブラリ] モードの両方で同じファイルを編集すると、写真が表示されない場合があります (情報が異なる方法でファイルに書かれます)。従って、ライブラリ カatalogにファイルをインポート後、[ライブラリ] からファイルを使用することをお勧めします。

ファイルフォルダー モードで操作する

[ファイル フォルダー] モードで Corel AfterShot Pro 内の画像を検索することは、Windows® Explorer、Mac® Finder®、または他のファイル マネージャー アプリケーションで画像を検索するのと同じです。

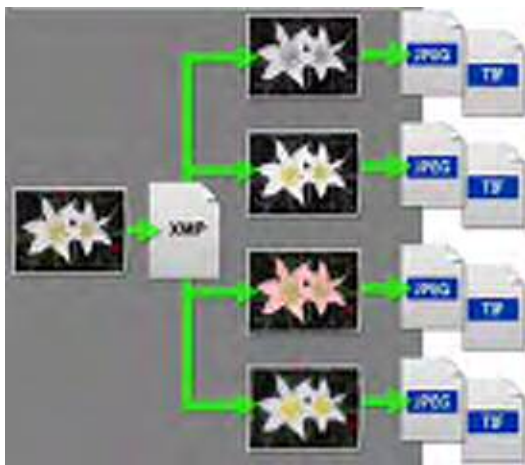
[ファイル フォルダー] モード、または [ライブラリ] モードから操作するように選択しても、ファイルは同じ方法で管理することができます。詳細は、以下のトピックを参照してください。

- *バージョンの移動とコピー*
- *バージョンの名前を変更*
- *バージョンの削除*

写真を編集する

Corel AfterShot Pro の画像編集は完全非破壊なので、必要に応じて自由に画像のテストや編集を行うことができます。さらにいつでも元のバージョンに戻ることができます。行う編集と追加するメタデータのすべては、サイドカー XMP ファイルか Corel AfterShot Pro 内のカタログのいずれか、または両方に保存されます。

別のアプリケーションで画像調整を表示または使用するには、画像を出力する必要があります。ファイルの出力についての詳細は、「[画像を出力する](#)」を参照してください。



元のファイルは常に保護されています。マスターバージョンは元のファイルに基づいていますが、必要に応じていつでもマスターのバージョンを作成することができます。

元のファイルは常に保護されているので（マスターファイルとして）、写真を編集する場合は、マスターバージョンと呼ばれるマスターファイルの表示時に

Corel AfterShot Pro 内に変更が表示できます。必要に応じていくつでもマスターのバージョンを作成することができます。バージョンの作成時、アプリケーションはマスター ファイルのコピーを作成する必要はありません。情報が XMP ファイルやカタログに効果的に保存されるので、できるだけ容量を使わないで必要に応じて制限なくバージョンを作成することができます。

調整ツールについて

編集ツールとコントロールのほとんどは、[ツール パネル] にあります。[標準] タブには、[基本調整] セクションがあり、最も共通の調整コントロールが含まれています。その他に、[色]、[トーン]、[詳細]、[メタデータ] のタブがあり、その他ツールや最新のコントロールおよびオプションを使用することができます。例えば、[基本調整] セクションには [フィル ライト] があります。[フィル ライト] は、[露出] セクション（[トーン] ページ）にも表示されます。[露出] セクションには、追加のコントロール、[範囲] があり、[フィル ライト] 調整を微調整できます。任意の場所 [でフィル ライト] を調整すると、すべてのセクションの [フィル ライト] 設定が更新されます。これらは多少表示が異なりますが同じコントロールです。



以下の画像は、ツール パネルの基本調整セクションといくつかの共通コントロ


ールです。[ツール パネル]のサイズ変更、セクションの固定、さらにパネルの表示非表示を選択することができます。ツール パネルのコントロールは、さまざまな方法で調整することができます。コントロールを元の設定に戻したり、設定の結果を表示または非表示にすることもできます。


一部のツールとコントロールが使用できないのは何故ですか？

一部のツールとコントロールは以下の場合に使用できません。

- 編集するファイルが使用できない (例えば、コンピューターに現在接続されていない外部ドライブに保存されているファイル)
- レイヤーがあるか選択されていて、ツールやコントロールが画像全体にしか適用できない場合
- ツールがファイル形式に対応していません。例えば、以下のツールは RAW ファイルにしか適用できません。
 - [ハイライト部回復]
 - [カスタム ホワイト バランス] ([温度]と[ティント] のスライダー)
 - [ホワイト バランスの設定] (昼光、曇天、白熱灯等)
 - [Noise Ninja™] (自動プロファイルは他のファイル タイプでしか使用できません)

ツール パネルのサイズ変更、固定、または非表示にするには

操作内容	手順
[ツール パネル]のサイズを変更する	パネルの左の縁にポインターを置いて、サイズ変更矢印にポインターが変わるまでドラッグします。
アクティブはページに関係なく表示	必要なセクションを表示して、[ピン] アイコン 

操作内容	手順
るようにセクションを固定する	を右上隅でクリックします。セクションの固定を解除するには、アイコンをもう一度クリックします。
[ツール パネル] を非表示にする	パネルの上部にある [右パネルの表示/非表示] ボタン  をクリックします。

設定を調整する

- 以下のいずれかを行います。
- スライダーをドラッグする
- 設定の番号をダブルクリックして新しい値を入力する
- ホイール付きマウスを使用して、コントロール名やスライダー上にポインターを置いて、マウスホイールを回転して設定を調整する

スライダーを元の設定に戻す

- スライダーやコントロール名をダブルクリックします。

設定結果を非表示または表示する

- [ツール パネル] で、調整ツールの左側のチェック ボックスを選択または選択解除します。

基本調整

[標準] タブを [ツール パネル] からクリックして、最も一般的に使用される編集ツールを使用します。これらの頻繁に使用する調整ツールを一箇所に集めると、タブを切り替えることなく基本的な編集を素早く行えます。コントロールは、[ヒストグラム]、[基本調整]、[設定] の三つに分かれています。

ヒストグラム

ヒストグラムは、画像を構成するデータを視覚的に表示したものです。左側は画像のより暗いエリアを、右側はハイライトを表し、色分けされた曲線は画像に見つかった所定の値のピクセルの数を示します。



基本調整

このセクションには、よく使用される画像の調整コントロールがあります。多くの写真は、このセクションにある以上のものを必要としません。

自動レベル

自動レベル補正を有効にして、自動レベルが適用されるクリッピングの量を設定します。

自動レベルは画像の色調範囲を調べて、画像の修正した割合が純黒と純白になるように黒点と白点を設定します。自動レベル ツールには 2 つの編集ボックスがあり、左のボックスでは純黒になるように画像の割合を設定し、右のボックスでは純白になるように割合を設定します。

Perfectly Clear®

Athentech Technologies Inc. 社が提供する Perfectly Clear® は、


画像を素早く最適化する簡単な方法です。Perfectly Clear は、実際の色とゼロ クリッピングを維持しながら、すべてのピクセルの明暗を自動的に最適化する、賞を取ったテクノロジーです。また Perfectly Clear は、異常な色合いを除去し、色あせた写真を復元します。さらに、医療画像テクノロジーを使用して、コントラストや鮮明さを向上します。

ホワイトバランス

[撮影時]、[クリックホワイト]、[カスタム] などの、あらかじめ設定された複数のホワイトバランス設定から選択します。

異なる光源には異なる特性や暖かさがあり、カメラの画像取得に影響を与えます。ホワイトバランスでは、画像の全体的なカラーを調整することができ、写真のカラーの正確な再現を可能にします。[昼光]、[影]、[電球]、[フラッシュ] などのホワイトバランス設定を選択するか、[クリックホワイト] により画像内の中間色の被写体（中間的な灰色で表示されているもの）を選択すると、画像のすべてのカラーを調整して、中間色をクリックした点を強調します。

[クリックホワイト] ツールでホワイトバランスを設定するには

1. [ホワイトバランス] セクション ([基本調整] ページ内) で、[クリックホワイト ツールを有効にする] ボタン  をクリックするか、I キーを押します。
2. [プレビュー パネル] 内で、写真の中間色エリアをクリックして実験します。クリックするのに最適な場所は、調整する画像の露光過度（純白）や露光不足（純黒）ではない中間灰色の部分です。異なる場所をクリックすると、異なる補正結果が得られます。
3. ホワイトバランスを微調整するには、[温度] スライダーで調整します。

傾き補正

画像を手動で回転して、横軸を水平にしたり、画像を真っ直ぐにすることができます。詳細については、「傾き補正」を参照してください。

露出

全体的な露出補正を行い、画像のすべての部分を明るくするか、暗くします。

ハイライト

画像の明らかに露出過度の部分の細部を復元します。

フィルライト

ハイライトを露出過度にすることなく画像の影や暗い部分を明るくし、中間階調への影響を最小限にします。

黒

画像の黒点をコントロールします。ゼロ (0) 以下の値は画像から黒を削除します。ゼロ (0) 以上の値は画像を暗くします。ヒストグラム セクションには、画像の変更が表示されます。

彩度

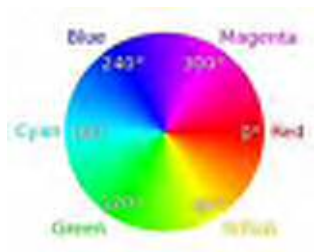
画像内のカラーの強さを調整します。彩度設定を高くすると、カラーが増強され、豊かで鮮やかなカラーになります。彩度設定を低くすると、淡い、より抑えられたカラーになります。彩度をゼロに設定すると、単色の白黒画像になります。

バイバランス

バイバランスは、既に飽和状態の肌やその他の画像領域に対して、より穏やかな補正を行う彩度のバージョンです。

色相

色相は、スライダーで指定した量によって「カラー サイクル」を回転して、画像内のカラーを変更します。例えば、色相スライダーが 60 に設定されており、画像の元の色相に 60 が加えられると、緑はシアンになり、青はマゼンタになり、赤は黄色になります。



コントラスト

コントラストを上げると、画像の暗い領域はより暗くなり、明るい領域はさらに明るくなります。

シャープニング

画像にシャープニングを行うと、縁の細部をよりはっきりさせることにより、画像の詳細な部分がより際立ちます。

メモ： [シャープニング] のような微調整詳細コントロール ツールは、メイン プレビュー パネルか、[拡大] を使用して、画像を 100% ズームで表示しながら適用し、評価してください。

Noise Ninja™

Noise Ninja は、PictureCode, Inc. によって開発された最先端のノイズ

除去システムです。これは、スタンドアロン製品として、または Corel AfterShot Pro 内で使用することができます。Noise Ninja のテクノロジーは、これまでにない高いノイズ抑制と細部維持を両立しており、人工的な影響のない自然な外観を生み出すことが可能で、Corel AfterShot Pro に内蔵されています。チェックボックスにより Noise Ninja のノイズ除去を有効または無効にし、スライダーによってノイズ除去効果の強度を設定します。さらにコントロールするには、登録した Noise Ninja のセクションを使用します。

メモ： 微細な細部をコントロールする Noise Ninja のようなツールは、メイン プレビュー ウィンドウまたは **[拡大]** を使用して、画像を 100% ズームで表示しながら適用し、評価する必要があります。

RAW ノイズ

RAW ファイルのみのノイズを除去します。

キーワード

[基本調整] ページの下部には、すべての選択したバージョンのキーワードを示すキーワード セクションがあります。複数のバージョンを選択すると、次の色分けが使用されます。

- 赤 — キーワードは選択したバージョンの一部のみに適用されます
- 緑 — キーワードはアクティブなバージョンのみに適用されます
- 色なし — キーワードはすべての選択したバージョンに適用されます

設定

設定は、ワークフローをスピードアップするのに便利です。お気に入りの調整を設定に保存したり、キーワード設定を作成したり、さまざまな写真編集を 1 回のクリックで適用できる設定内に結合することができます。

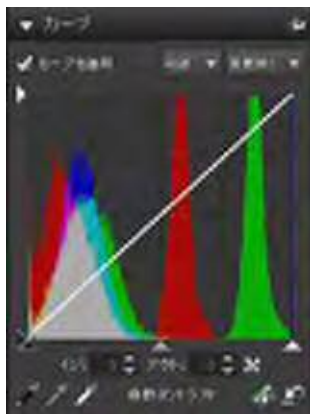
詳細については、「調整の設定」を参照してください。

カラー ツール

[ツール パネル] の [色] タブでは、色の制御に関連したツールを利用できます。コントロールは、[カーブ]、[色補正]、[カラー バランス]、[ホワイト バランス]、および [色の管理] の 5 つのセクションに分かれています。

カーブ

[カーブ] セクションには、多くの画像編集プログラムで使用されている標準的な [カーブ] ツールと [レベル] ツールがインテリジェントに組み合わせられています。








[カーブ] には、次のコントロールが含まれています。

- **カーブを適用** — カーブ ツールを有効または無効にします。
- **RGB ドロップダウン** — 個々のカラー チャンネル、またはそれらを組み合わせ

せた RGB モードを選択できます。

- **[変更前/変更後]** ドロップダウン — カーブ調整が適用される前と、調整が適用された後のヒストグラム表示を切り替えます。
- **左側の白い矢印** — 入力 255 (白) ポイントを設定します。この矢印を均一に変化するカーブ ツールの側面に沿ってドラッグすると、ヒストグラムがそのまま残り、画像が暗くなります。
- **下の白い矢印** — 出力 255 (白) ポイントを設定します。これを左にドラッグすると、画像が明るくなりますが、ハイライトの細部をクリップすることができます。
- **左側の黒い矢印** — 入力 0 (黒) ポイントを設定します。この矢印を均一に変化するカーブ ツールの側面に沿ってドラッグすると、ヒストグラムがそのまま残り、画像が暗くなります。
- **左側の黒い矢印** — 出力 0 (黒) ポイントを設定します。これを右にドラッグすると、シャドウが深くなり、シャドウの細部をクリップすることができます。
- **下部の灰色矢印** — 出力 128 (灰色) ポイントを設定します。これを右にドラッグすると、中間階調の値が高くなり、画像が明るくなります。左にドラッグすると、画像が暗くなります。
- **カーブ ツール内部をクリック** — カーブ ツール自体の内部をクリックして、カーブを設定または調整します。複数の点を設定して、トーンコントロールを微調整します。
- **自動コントラスト** — このボタンをクリックし、画像の内容に基づいて出力の白点と黒点を設定します。これは、自動レベルのハイライトとシャドウの値を使用して一時的な調整を行い、自動レベルが行うのと同じようにコントラストを向上します。このツールと自動ツールの主な違いは、出力の白値と黒値を自動レベル値より簡単に調整できることです。

- **[黒点]** ツール 、**[グレーポイント]** ツール 、**[白点]** ツール  — ツールをクリックし、**[プレビュー パネル]** 内で画像をクリックして、クリックするピクセルの値に黒、灰色、または白を設定します。
- **[すべてのカーブをリセット]**  と **[現在のカーブをリセット]**  — **[すべてカーブをリセット]** は、カーブ値をフラットカーブに戻します。現在のカーブをリセットは、現在の RGB チャンネルのみをリセットします。

色補正



[色補正] セクション (**[ツール パネル]** 内の **[色]** ページ) では、カラー ピッカーで設定した画像や色から採取した色に基づいて画像を調整することができます。選択した色は、カラー ウェルに保存されます。最初の 6 つのカラー ウェルは、原色および二次色に設定されています。カラー ウェルの二番目のセットを選択した色に設定できます。



色補正の開始点として色を選択するには


1. **[ツール パネル]** 内で、**[色]** タブをクリックして、**[色補正]** セクションを開

きます。

2. 色が割り当てられていない調整可能なカラー ウェル  をクリックします
(二段目の白いウェル)
3. **[カラー ピッカー]**  をクリックし、写真内の任意の場所をクリックして、カラー調整に使用される色を選択します。
最初の色を選択したら、画像内のその色の **[色相]**、**[彩度]**、または **[明度]** を調整します。
4. **[範囲]** を調整して、色の許容値を制御します。範囲を小さくすると、選択した色に非常に近い色のみが調整され、範囲を大きくすると、画像内の広い色の範囲が調整されます。



この例では、選択的色補正をドレスの採取に使用しました。ドレスの色を変更するのに色相を調整しました。

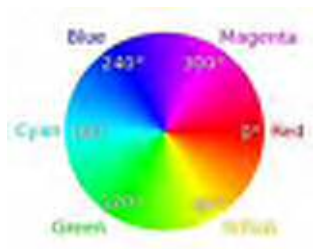
ヒント：また、カラー ウェル  をクリックして色をカラー ウェルに割り当

てて、[カラー ピッカー] の左に表示することもできます。これによりカラー セレクター ウィンドウが開き、調整カラーとして色を選択できます。

カラー バランス

[ツール パネル] 内のこのセクションでは、画像の色のバランスを正確に制御することができます。以下のコントロールを使用することができます。

- [シアン/赤]、[マゼンダ/緑] および [黄色/青] は、色軸に沿って色の変化をコントロールします。
- **彩度** — 画像内の色の強度を調整します。彩度設定を高くすると、カラーが増強され、豊かで鮮やかなカラーになります。彩度設定を低くすると、淡い、より抑えられたカラーになります。
- **バイブランス** — 適切な [彩度] を適用して肌やその他画像の鮮やか過ぎる部分を補正します。
- **色相** — スライダーで指定した量によって、「カラー ホイール」回転して画像内のカラーを変更します。例えば、色相スライダーが 60 に設定されており、これが画像の元の色相に加えられると、緑はシアンになり、青はマゼンタになり、赤は黄色になります。

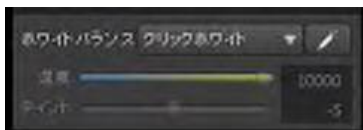


- **HSL/HSV** — HSL (Hue / Saturation / Luminance) 色空間と

HSV (Hue / Saturation / Value) 色空間での画像補正を選びます。


ホワイトバランス

[撮影時]、[クリックホワイト]、[カスタム] などの、あらかじめ設定された複数のホワイトバランス設定から選択します。



異なる光源には異なる特性や暖かさがあり、被写体のカメラ上の再現に影響を与えます。ホワイトバランスでは、画像の全体的なカラーを調整することができ、写真のカラーの正確な再現を可能にします。[昼光]、[影]、[電球]、[フラッシュ] などのホワイトバランス設定を選択するか、[クリックホワイト] により画像内の中間色の被写体（中間的な灰色で表示されているもの）を選択すると、画像のすべてのカラーを調整して、中間色をクリックした点を強調します。

クリックホワイト ツールでホワイトバランスを設定するには

1. [ホワイトバランス] セクション ([基本調整] ページ内) で、[クリックホワイト ツールを有効にする] ボタン  をクリックするか、I キーを押します。
2. [プレビュー パネル] 内で、写真の中間色エリアをクリックして実験します。クリックするのに最適な場所は、調整する画像の露光過度（純白）や露光不足（純黒）ではない中間灰色の部分です。異なる場所をクリックすると、異なる補正結果が得られます。
3. ホワイトバランスを微調整するには、[温度] スライダーで調整します。

色の管理

このツールは、アクティブバージョンに適用される色の管理モードをコントロールします。



- **色の管理** — 色の管理は、ICC プロファイルに設定すると有効になります。これを [なし - 線形] に切り替えると、色の管理は適用されますが、画像は線形色空間に残ります。
- **カスタム入力プロファイル** — 上級ユーザーは、カメラのプロファイルに関連付けられた線形データから入力プロファイルを作成できます。

トーンツール

ツールパレットの [トーン] タブでは、画像のトーンを微調整できるコントロールを使用できます。そのツールのすべては、露出セクションに構成されています。

露出

露出セクションは、トーン調整のすべてを 1 つの領域に一体化したものです。[標準] タブでは、ほとんど同じコントロールを利用することができます。詳細については、「基本調整」を参照するか、ヘルプの「トーン ツール」を参照してください。



詳細ツール

ツールパネルの [詳細] タブでは、シャープ化、ぼかし、ノイズ調整、レンズ補正または歪みの適用、ピネットや色反転などの効果の追加が行えるコントロールにアクセスできます。コントロールは、シャープニング、RAW ノイズ、Noise Ninja 標準、登録した Noise Ninja、レンズ補正、左右反転と反転の 6 つのセクションに分類されています。

シャープニング

シャープニング セクションでは、画像の細部の鮮明さやソフトさを調整できます。[量] は全体的な鮮明さを調整し、[感度] は鮮明にする画像の部分を限定します。



[感度] の値を高くすると、画像の鮮明度が抑えられます。画像のシャープニ

ングによりノイズが発生したり、詳細な領域が乱れたり、鮮明になり過ぎる場合は、[感度] の値を上げてみてください。

メモ： シャープニングのような微細な細部をコントロールするツールは、[プレビュー パネル] または [拡大] のいずれかで画像を 100% ズームで表示しながら適用および確認する必要があります。

RAW ノイズ

RAW ノイズ除去は、最高画質の最終画像を得るために、画像編集ワークフローの非常に早い段階で行う画像改善プロセスです。この機能は RAW ファイルにのみ適用できます。

- **Raw インパルス ノイズの削除**： インパルス ノイズ (単一の黒、白、または色付きピクセル) の自動検出と除去が可能です。
- **Raw ノイズ**： RAW ノイズ除去を適用し、このコントロールの強度を設定します。
- **しきい値**： 画像内のノイズを検出する積極さの度合を設定します。

メモ： [RAW ノイズ] を適用すると、[インパルス ノイズの削除] が有効になりますが、RAW ノイズを実行せずにインパルス除去を行うこともできます。

Noise Ninja

Noise Ninja は、PictureCode, Inc によって開発された最新式のノイズ除去システムです。**Noise Ninja 標準**は Corel AfterShot Pro に含まれています。**登録した Noise Ninja** セクションを使用するには、Noise Ninja のライセンスを購入して PictureCode にユーザー登録する必要があります。Noise Ninja のテクノロジーは、これまでに見えないノイズ抑制と細部維持を両立しており、人工的な影響のない自然な外観を生み出すことが可能

です。**Noise Ninja 標準**セクションのチェックボックスで Noise Ninja のノイズ除去を効または無効にし、スライダーを使用してノイズ除去効果の強度を設定します。Noise Ninja の詳細については、PictureCode Web サイトをご覧ください (<http://www.picturecode.com>)。

登録した Noise Ninja には、次のコントロールが含まれています。

- **有効**： Noise Ninja のオン / オフを素早く切り替えます
- **粗いノイズ**： 彩度チャンネルの低周波ノイズを除去します
- **自動プロファイル**： 既定のプロファイルを使用する代わりに、この画像のノイズ プロファイルを作成します。Corel AfterShot Pro に付属のプロファイルは、コントロールされた条件を使用して作成されており、通常は自動プロファイルの結果より優れた結果をもたらします。
- **ターボ モード**： 高性能のノイズ除去。有効にすると、ノイズ除去の量が多少少なくなります。

ツールの下部は、**[強度]**、**[コントラスト]**、および**[スムーズ化]**のコントロール (**[輝度]** ノイズと **[彩度]** ノイズ用) に分けられています。輝度ノイズは、画像内に明るいまたは暗い小さな斑点として表示されます。クロム ノイズは色付きの斑点として表示されます。以下のコントロールは、輝度およびクロムの両方に含まれています。

- **強度**： 画像に適用するノイズ除去の全体的なレベルをコントロールします
- **コントラスト**： 目盛りを移動してノイズ除去処理を調整します
- **スムーズ化**： スムーズ化は、ノイズ プロファイルによって予測されるノイズレベルの増減をします。通常デフォルト設定を変更する必要がありませんが、スムーズ領域に孤立した斑点がある場合は、スムーズの設定を増加して消えるかどうか試してください。

すべてのノイズ除去技術は、鮮やかな部分にちょっとした劣化を引き起こします。登録した Noise Ninja ツールには、ノイズ除去を適用した後にアンシャープマスク鮮鋭化処理を適用するために独自の鮮鋭化ツールが USM タブにあります。USM タブには以下が含まれています。

- **量**：鮮鋭化の強度を制御します
- **半径**：USM コントロールによって影響される画像の範囲を調整します

最後のタブには、ノイズ除去処理で使用されるプロファイルを表示するツールか、新しいカスタムノイズ 往路ファイルを作成するツールがあります。

レンズ補正

レンズ補正はレンズの歪みを修整します。大きな範囲の焦点距離のズームレンズは、非常に多くのレンズ歪みの原因になりますが、単焦点レンズや「プライム」レンズでも、一部のタイプの歪みの原因になります。最も一般的な 3 つのタイプのレンズ歪み、樽型とピン クッション歪み、ビネットは、Corel AfterShot Pro では速く簡単に補正することができます。詳細については、ヘルプの「[レンズ補正](#)」を参照してください。



反転

このシンプルなツールでは、以下を行うことができます。

- 画像を **[左右反転]** します (左から右へ)
- 色を **[反転]** します (写真のネガにのように)。このオプションは、スキャンネガを使用する場合に便利です。

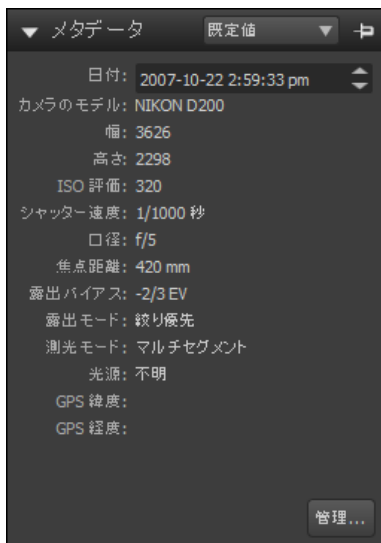


メタデータ ツール

[メタデータ] タブには、画像に関連付けられているメタデータを表示および編集できるツールがあります。このメタデータには、カメラ データ、EXIF および IPTC データ、さらにキーワード、星評価、キャプションなどの、ファイルに追加する情報が含まれています。コントロールは、[メタデータ]、[キーワード]、[キーワード セット] の 3 つのセクションから構成されています。

メタデータ

このツールは、EXIF および IPTC メタデータ (アクティブ バージョンに割り当てられた) を表示します。選択したすべての画像の IPTC データを追加、削除、編集することができます。

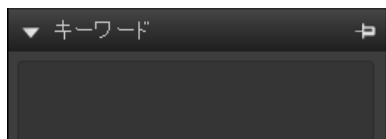


[メタデータ] セクションの上部にあるドロップダウン ボックスからさまざまなメ

タデータ セットを選択することができます。表示されるメタデータのタイプを切り替えます。[シャッター速度]と[ISO 評価]などの一部のメタデータは読み取り専用です。[キャプション]、[評価]、[日付]などのその他メタデータは編集できます。

キーワード

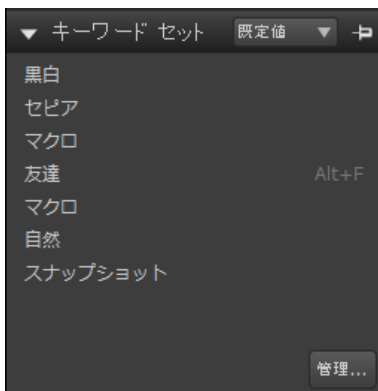
このセクションでは、アクティブ バージョンと選択されたすべてのバージョンに割り当てられるすべてのキーワードについて説明します。選択したすべての画像からキーワードを追加および削除することができます。



メモ： [キーワード] セクションからキーワードを追加または削除すると、選択した画像すべてに影響しますが、セクションに表示されるキーワードはアクティブ バージョンだけに反映します。

キーワード セット

このツールでは、速く簡単に写真に複数のキーワードを割り付けることができます。類似したキーワードを 1 つのセットにグループ化して、そのセットを [キーワード セット] セクションに表示できます。



[メタデータ] ツールについての詳細は、以下のトピックを参照してください。

- [メタデータを使用する](#)
- [キーワードについて](#)
- [キーワードを使用する](#)
- [メタデータを使用して写真を見つける](#)

プラグイン

[プラグイン] タブでは、プラグインを利用できます。サードパーティー開発者によって開発されたプラグインを利用することができます。これら独自の画像調整ツールは、Corel AfterShot Pro 内で直接使用できるように設計されています。プラグインは、Corel AfterShot Pro の組み込み画像調整ツールのように完全非破壊で、Corel AfterShot Pro の選択編集ツールに完全統合されます。

他のプラグインをインストールすると、追加のツールが [プラグイン] タブに表示されます。インストールするプラグイン数が増えると、追加のプラグイン タブが自動的に作成されます。

Corel AfterShot Pro で使用できるプラグインについての詳細は、www.corel.jp を参照してください。

プラグインのインストールとアップデート

プラグインは、Corel AfterShot Pro **.afzplug** ファイル (プラグインを実行するのに必要なすべてのファイルと情報から構成される単体ファイル) として配布されます。単体のプラグイン バンドルは、Windows®、Mac、Linux® (開発者が その 3 つすべてのバージョンのプラグインを構築した場合) にインストールすることができます。

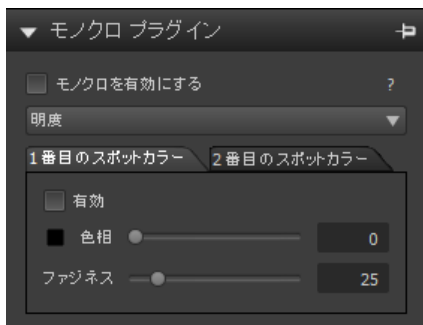
プラグインをインストールするには

- 以下のいずれかを行います。
 - Corel AfterShot Pro プラグイン バンドル (拡張子が「.afzplug」) をダブルクリックします
 - **.afzplug** バンドルをドラッグして、**[参照パネル]** にドロップします
 - **[ファイル]** > **[プラグインをインストール]** の順にクリックし、インストールする **.afzplug** バンドルを選択します


メモ： Corel AfterShot Pro は、インストールしようとしているプラグインが、使用している Corel AfterShot Pro のバージョンとコンピューターのタイプに対応しているかどうか確認します。プラグインをインストールします。場合によっては、プラグインのアップデート バージョンがインストールされます。インストール処理を終了するには、Corel AfterShot Pro を再起動する必要があります。プラグインのインストールやアップデート後すぐに再起動するか、後で再起動するか選択することができます。

AfterShot Pro モノクロ プラグイン

Corel AfterShot Pro には革新的なモノクロ プラグインが装備されており、さまざまな色混合オプションや、1 色 または 2 色をモノクロ画像に戻す、革新的な使いやすいスポット カラー ツールを簡単に選択することができます。



このプラグインは以下のコントロールから構成されています。

- **黒白を有効にする** — 効果を有効無効にします
- **チャンネル ミキサー** ドロップダウン — 黒白値を決定するのに使用される色混合を選択します
- **1 番目と 2 番目のスポット カラー タブ** — スポット カラー修復オプションを選択します
- **有効** — スポット カラーの効果を有効無効にします
- **色相** — 復元する彩度を選択するか、カラー ウェル  をクリックして、色を選択します
- **ファジネス** — 修復に含まれる選択した色相の周りの範囲を設定します

選択調整

選択編集は、写真の特定領域のみを調整または編集します。例えば、写真のハイライトする部分を選択して明るくしたり、修復またはクローンを使用して編集する部分を選択することができます。修復とクローンについての詳細は、「[修復とクローンを使用してタッチする](#)」を参照してください。

選択編集は、以下の 3 つの手順から構成されています。

1. レイヤーを作成する —「[調整レイヤーを作成するには](#)」を参照してください
2. 領域を作成して編集する領域を選択する —「[領域を作成するには](#)」を参照してください
3. 調整を適用する —「[レイヤーを調整するには](#)」を参照してください。

選択編集で使用することができるレイヤー、領域、調整についての詳細は、以下の情報を参照してください。

レイヤー

レイヤーは領域と調整のコレクションです。レイヤーには 1 つの領域と調整を含むか、複数の領域と調整を含むことができます。1 つのレイヤー内のすべての領域には同じ調整が適用されます。例えば、写真内の複数の顔を明るくする場合、各顔の上に円の領域を作成し、レイヤーの [フィル ライト] 設定を調整します。選択したすべての顔を一度に明るくすることができます。またレイヤーに他の調整を適用できますが、調整を選択したすべての領域に適用しない場合や新しい領域を調整する場合は、調整する新しい領域を作成するか、または領域を選択する必要があります。







[レイヤー] パレットの上部には、領域ツールなどのレイヤーの作成や管理のメイン コマンドがあります。レイヤーの追加、削除、複製、反転、名前変更を行うことができます。さらにレイヤーをコピーおよび貼り付けすることができます。選択した部分とレイヤー設定がコピーされます。

[レイヤー] パネルの **[名前]** リストには現在の写真のバージョンに関するすべてのレイヤーが表示されます。**[プレビュー パネル]** で選択した領域を表示するレイヤーを選択します。また、表示または非表示にするレイヤーと領域を選択することもできます。

[レイヤー] パレットの下部は文脈依存です。有効なツールを制御および微調整するのに使用できる設定を表示します。

領域

領域とは、以下の【領域】ツールのいずれかを使用して作成する写真の選択領域のことです。

- **円形領域ツール**  — 円形の領域を作成します
- **多角形領域ツール**  — 多角形（三角形、四角形、長方形等）を作成します。囲み形状は、画像をクリックして直線で接続されるポイントを設定します。
- **カーブ領域ツール**  — 不規則な曲線形状を作成します。囲み形状は、画像をクリックして曲線で接続されるポイントを設定します。
- **ブラシ領域ツール**  — 自由形状を作成します。ブラシストロークが選択領域を決定します。ブラシで領域全体を作成するか、ブラシを使用して領域に追加します。例えば、多角形領域ツールは大きな領域の背景を選択するのに使用し、ブラシ領域ツールは背景の境界に小さなブラシストロークを追加して完全に覆われているか確認するのに使用されます。

領域にはメイン領域と境界をぼかす領域の 2 つの領域があります。メイン領域は領域の実線内の部分で、編集のすべての効果が適用される部分です。メイン領域の縁が境界をぼかす部分です。これは、選択した部分を背景とブレンドする遷移部分です。点線の内縁が 100%、外縁が 0% になります。

領域と残りの画像間を滑らかにぼかすには、大きなぼかしサイズを使用します。領域内の選択した部分のみに影響する領域を鮮明にするには、小さなぼかしサイズを使用します。



領域のメイン部分は黒の実線で囲まれます。ぼかし部分は白の点線で囲まれます。

領域を反転することもできます。従って、領域を含んでいるレイヤーに適用した編集は、選択した部分外の部分に適用します。


領域を調整する


編集する領域のレイヤーを作成した後に、[ツール パネル] 内のコントロールを使用して調整を適用することができます。

一部の調整および編集ツールは、画像全体で動作するように設計されているので、レイヤーに使用することはできません。以下の調整とツールは画像全体に影響します。

- 画像の回転
- 傾き補正
- レンズ補正
- 色の管理
- 自動レベル
- すべてのメタデータ設定 (キーワード、評価、ラベル、IPTC データ等)

調整レイヤーを作成するには

1. アプリケーション ウィンドウの右上隅の [レイヤー マネージャーを開く] ボタン  をクリックします。

2. [レイヤー] パレットで、[レイヤーを追加] ボタン  をクリックします。

[名前] リスト ([メイン レイヤー] の下) に新しいレイヤーが表示されません。

レイヤーの不透明度を設定するには


- [レイヤー] パレット内で、レイヤー名をクリックして、パレットの下にある [不透明度] スライダーを調整します。

レイヤーの名前を変更する

- [レイヤー] パレット内で、[名前] リスト内のレイヤー名をダブルクリックして、名前を入力します。

ヒント： 調整タイプに従ってレイヤーに名前を付けることができます。後で、別の領域に同じ調整を行う場合は、既存のレイヤーを選択して領域を追加すると簡単に行えます。

レイヤーを複製する


- [レイヤー] パレットで、複製するレイヤーをクリックし、[複製] ボタン  をクリックします。

レイヤーまたは領域を非表示または表示するには

- [レイヤー] パレット内で、[名前] リスト内のレイヤーや領域の名前の左にあるボックスをクリックします。




レイヤーや領域が表示されると、ボックスにチェックマークが表示されます。レイヤーや領域が非表示の場合は、ボックスが空になります。




レイヤーまたは領域を削除するには

1. [レイヤー] パレット内で、削除するレイヤーや領域の名前をクリックします。
2. [レイヤー] パレットの上部にある [削除] ボタン  をクリックします。


領域を作成するには

1. [レイヤー] パレット内で、領域を追加するレイヤーを作成するか、選択します。
2. 以下のいずれかの領域ツールをクリックして、説明に従います。

ツール	説明
円形領域 	[プレビュー パネル] 内で、画像をクリックして円の位置を設定します。[レイヤー] パレットの下にある [サイズ] スライダーと [境界をぼかす] の設定を調整します。
多角形領域 	[プレビュー パネル] 内で、画像をクリックして形状の各点を設定します (直線で接続される点)。ダブルクリックして終了します。[レイヤー] パレットの下にある [境界をぼかす] の設定を調整します。
カーブ領域 	[プレビュー パネル] 内で、画像をクリックして形状の各点を設定します (曲線で接続される点)。ダブルクリックして終了します。[レイヤー] パレットの下にある [境界をぼかす] の設定を調整します。
ブラシ領域	[レイヤー] パレット内で、[ストロークを表示]

ツール	説明
	<p>チェックボックスを選択します。ブラシの [サイズ] と [強さ] の設定を調整して、[プレビュー パネル] にドラッグしてブラシストロークを適用します。終了したら、[ストロークを表示] チェックボックスの選択を解除することができます。ストロークを微調整するには、[消しゴム]  または [標準ブラシ]  のモードを切り替えます。ブラシストロークの色を変更する場合は、[カラー] ウェルを選択して色を選択します。</p>

レイヤーを反転する

- **[レイヤー]** パレット内で、**[名前]** リスト内のレイヤー名をクリックし、**[反転]** ボタン  をクリックします。

反転すると、領域のメイン部分の合うろラインが黒から白に変わります。

レイヤーを調整するには

- **[レイヤー]** パレット内で、**[名前]** リスト内のレイヤー名をクリックし、ツールパレット内で、必要に応じて設定を調整します。
- 適用できる調整についての詳細は、「**領域を調整する**」を参照してください。

領域の編集

領域の編集は領域の作成同様に簡単です。多角形やカーブ形状の点を追加、削除、移動することで領域を編集することができます。また領域の移動または領域のサイズやぼかしを調整することもできます。

多角形やカーブ形状へ点を追加するには

1. [レイヤー] パレット内で、[名前] リスト内の領域名をクリックします。
2. **SHIFT** キーを押したまま [プレビュー パネル] で、点を追加する領域のアウトライン上にポインターを置きます。
3. 正しい位置に赤い円が表示されたら、クリックして点を追加します。

多角形やカーブ領域から点を削除するには

1. [レイヤー] パレット内で、[名前] リスト内の領域名をクリックします。
2. **ALT** キーを押したまま (または一部の Linux システムでは **ALT + SHIFT**)、[プレビュー パネル] で、削除する点上にポインターを置きます。
3. 点の上に赤い円が表示されたら、クリックして点を削除します。

多角形やカーブ領域の点を移動するには

1. [レイヤー] パレット内で、[名前] リスト内の領域名をクリックします。
2. [プレビュー パネル] 内で、移動する点の上にポインタを置きます。
3. 点の上に赤い円が表示されたら、点を新しい位置にドラッグします。

領域を移動するには

1. [レイヤー] パレット内で、[名前] リスト内の領域名をクリックします。
2. [プレビュー パネル] 内で、領域の上にポインタを置きます。
3. 領域を新しい場所にドラッグします。

領域のサイズを変更するには

- [プレビュー パネル] 内で、領域の上にポインタを置いて、マウス ホイ-

ルを回転して拡大縮小します。

レイヤーをブレンドする

[ブレンド] は、最初の領域の下に新しい領域を作成して、[ブレンド] を [削除] に設定して領域の部分を「切り取る」ことができます。これは上の領域に重なっている部分から下の領域を削除します。[追加] 領域が重なっていない [削除] 領域には、影響しません。[レイヤー] パレットの [名前] リストを見てレイヤー順を確認することができます。

レイヤーのブレンド時に削除レイヤーを設定するには

1. [レイヤー] パレット内で、[削除] に変更するレイヤーの名前をクリックするか、新しいレイヤーを作成します。
2. 領域ツールを選択し、[ブレンド] ドロップダウンリストから、[削除] を選択します。
3. その上の [追加] レイヤーから下の領域を保護する領域を作成します。

修復とクローンを使用してレタッチする

修復とクローン ツールは、写真から小さな損傷要素を削除します。選択調整と同じ方法で、レイヤーと領域のツールを使用します。

- [修復] は、皮膚の小さなしみや空の小さな鳥など、低詳細部分の小さなしみを滑らかにするのに適しています。[円形] ツールで作成した円形領域でしか使用できず、クローンと異なりソースを設定する必要はありません。
- [クローン] は、ピクチャの損傷している部分や必要でない部分を覆い隠すために、画像の一部をコピーする処理です。クローンはソース領域から画像のコンテンツを取得して、選択した部分に貼り付けます。


カスタマー バージョンや関連バージョンのそれぞれに、1 つだけ [修復/クロー

ン] レイヤーを持つことができます。修復 / クローン レイヤーをコピーして貼り付けると、既存の修復 / クローン レイヤーは置き換えられます。

修復とクローンを切り替える

[円形] ツールは、[修復] または [クローン] モードで使用できます。モードを切り替えるには、[修復] または [クローン] のいずれかをレイヤー パレットの [モード] ドロップダウン リストから選択します。円形領域を作成する場合にのみコントロールが表示されます。

修復でしみを除去するには

1. [レイヤー マネージャーを開く] ボタン  をクリックします。
2. [レイヤー] パレットで、[+修復/クローン] ボタンをクリックします。
3. [円形領域] ツールをクリックして、[プレビュー] パネルで削除する染みを削除します。
4. [レイヤー] パレットの左下隅の [モード] ドロップダウン メニューから、[修復] を選択します。

円のサイズや円の辺の融合を調整する場合は、[サイズ] または [境界をぼかす] のスライダー ([レイヤー] パレットの下にある) をドラッグします。



修復モードで花から小さな白い染みを削除しました

クローンして画像領域を覆うまたはコピーするには

1. [レイヤー] パレットで、既存の **[修復/クローン]** レイヤーを選択するか、**[+修復/クローン]** ボタンをクリックして、**[修復/クローン]** レイヤーを作成します。
2. [領域] ツールをクリックします。
3. クローンする画像の部分を選択します。これが、クローンの対象部分になります。**[円形]** ツールを使用した場合は、**[モード]** が **[クローン]** に設定されているか確認します。領域ツールの使用についての詳細は、「**領域を作成するには**」を参照してください。
4. 対象領域の作成が終了すると、ソース領域が自動的に作成されます (赤の輪郭付き)。赤のソース領域内をクリックおよびドラッグして、画像コンテンツをコピーする場所に配置します。

ヒント： クローン時、**[ソースを入れ替える]** ボタンを **[レイヤー]**

パレットの下からクリックして、ソース領域を対象領域に置き換えます。これは、クローンを使用して画像コンテンツを除去する代わりに、画像内にコンテンツを複製する場合に便利です。

トリミングと傾き補正


Corel AfterShot Pro 内で、トリミングや傾き補正を行って画像合成を改善します。

トリミング

トリミングは写真を再構成し、不要な端の部分を削除したり、印刷出力に合うように縦横比を変えることができます。トリミングに関連する環境設定については、「[トリミングの環境設定](#)」を参照してください。






写真をトリミングするには

1. [トリミング] ツール  を Corel AfterShot Pro のツールバーでクリックするか、C キーを押します。
2. トリミング パレットで、次のいずれかを行います。
 - 設定ドロップダウン メニューから設定を選択します。

- ドロップダウンメニューから**[縦横]** または **[ピクセル]** を選択し、**[高さ]** と **[幅]** のボックスに値を入力します。
3. **[プレビュー パネル]** に表示されるトリミング グリッドの端をドラッグして、トリミング領域を調整します。
 4. トリミング グリッド内をクリックして、トリミング領域の位置を変えます。
 5. **[トリミング]** パレットで、**[終了]** をクリックします。

さらに以下を行うことができます


写真の端に合わせてトリミング領域を自動的に最大化する	[自動調整] ボタンをクリックします。
トリミング グリッドを表示または非表示にする	[トリミングを有効にする] チェックボックスをクリックします。
トリミング グリッドの向きを切り替える	[高さ と 幅 を 切り 替 える] ボタン  をクリックします。
トリミング グリッドの縦横比をロックする	[ロック] ボタン  をクリックします。
トリミング設定を設定ドロップダウン リストに追加する	トリミング パレットで、希望する [縦横] 値または [ピクセル] 値を入力し、 [追加] ボタン  をクリックします。

ヒント： マウスのスクロール ホイールを使ってトリミング グリッドのサイズを変更できます。

傾き補正

傾き補正では、傾いた視野を修正したり、写真に創造的な傾きを与えることができます。

写真を傾き補正するには

1. Corel AfterShot Pro ツールバーから[傾き補正] ツール  を選択するか、S キーを押します。
2. プレビュー パネル内をドラッグして、写真の傾き補正の参照として使用する水平または垂直のラインを描きます。
3. マウス ボタンを放すと、傾き補正が適用されます。



傾き補正ツールでは、傾き補正用の参照点 (上記の赤線で強調されている部分) を選ぶことができます

メモ： 写真を傾き補正する場合は、写真は自動的にトリミングされません。そのため写真の端に沿って白い領域が見えます。

設定

設定は、ワークフローをスピードアップするのに便利です。お気に入りの調整を設定に保存したり、キーワード設定を作成したり、さまざまな写真編集を 1 回のクリックで適用できる設定内に結合することができます。

設定は、コンピューターの以下の Corel AfterShot Pro ユーザー フォルダーに XMP ファイルとして保存されます。

Windows Vista & Windows 7 の場合：

C [またはメイン ドライブ] :\Users[ユーザー名]

\AppData\Local\Corel\AfterShot Pro\Presets

Windows XP の場合：

C:\Documents and Settings\[ユーザー名]\Local

Settings\Application Data\Corel\AfterShot Pro\Presets

Mac OSX の場合：

~/Library/Application Support/AfterShot Pro/Presets

これによって、設定をコンピューター間で簡単にコピーしたり、共有したりすることができます。



設定の適用と管理

設定の適用は、基本的にすべてのコマンドと情報を選択したファイルに適用します。すべての操作は、履歴パレットに表示され、不必要な効果を作成する設定を簡単に削除することができます。


画像にはさまざまな設定を適用できます。後の設定は、前の設定を最新の設定内に含まれている設定に置き換えます。

Corel AfterShot Pro には多数の設定が含まれていますが、独自の設定を作成することをお勧めします。

設定を調整するには

1. [サムネイル] パネル内で、編集する画像を選択します。
2. [ツール] パネル内で、[標準] タブをクリックします。
3. [設定] セクション内で、リスト内の設定をクリックします。設定は選択したすべての画像に適用されます。但しマルチ画像モード時を除きます。

設定を作成するには

1. 設定に保存するすべてのコマンドと設定を使用して画像を編集します。
2. [ツール] パネル内で、[標準] タブをクリックします。
3. [設定] セクションで、[設定を追加] ボタン  をクリックします。
4. [設定の保存] ダイアログボックス内で、設定の名前を選択して、保存する設定を選択します。
5. [OK] をクリックして設定を保存します。すぐに設定リスト内に設定名が表示されます。

設定を管理する

設定を管理することができます。**[管理]** モードを開いて、設定フォルダーの作成や設定の移動、名前変更、削除、表示を行うことができます。Corel AfterShot Pro には複数のデフォルト設定が含まれており、デフォルトの設定フォルダーにあります。写真の分類や整理するために、必要に応じて追加のフォルダーを作成することができます。**[お気に入り]** リスト (**[設定]** セクションのタイトル バー上のドロップダウン リスト) で表示する設定を選択することもできます。

設定の管理モードへアクセスするには


1. **[ツール]** パネル内で、**[標準]** タブをクリックして、**[設定]** セクションを開きます。
2. そのセクションの右下隅にある **[管理]** ボタンをクリックします。



お気に入りリストへ設定を追加 / 削除するには

- [メニューに表示] 列内で、[お気に入り] ドロップダウン リストに表示する設定のチェックボックスを選択します。リストから設定を削除する場合は、そのチェックボックスの選択を解除します。

設定のフォルダーを作成するには

1. 設定の [管理] モードで、[フォルダーの追加] ボタン  をクリックします。
2. 設定リストの下に表示されている新しいフォルダーをダブルクリックして、フォルダーの名前を入力します。


設定を移動するには

- 設定の [管理] モードで、いずれかのフォルダーから別のフォルダーへ設定をドラッグします。

設定または設定フォルダーの名前を変更するには


- 設定の [管理] モードで、リスト内の設定またはフォルダーをダブルクリックして、新しい名前を入力します。

設定または設定フォルダーを削除するには

- 設定の [管理] モードで、削除する設定またはフォルダーをクリックして、[削除] ボタン  をクリックするか、キーボードの **Delete** キーを押します。

ヒント：[編集] > [元に戻す] の順にクリックするか、**Ctrl + Z** を押して設定の選択解除を行います。

設定を表示するには

- 設定の [管理] モードで、設定をクリックして、[設定を表示] ボタン  をクリックします。

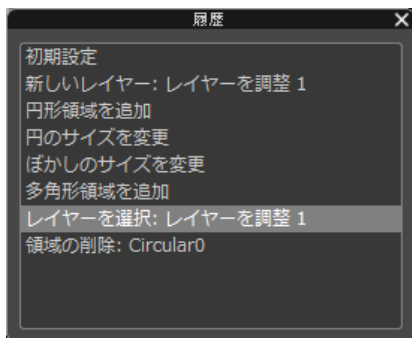
設定のコピーと貼り付け

1 つの写真から一部の設定またはすべての設定をコピーして別の写真へ設定を貼り付けることができます。例えば、写真の露出、色、ノイズ、鮮明度を調整してメタデータとキーワードを適用することができます。写真に問題がなければ、設定をコピーして必要な写真にそれらを貼り付けることができます。これは、多数の写真を速く編集して最適化するには大変便利です。

履歴パレットを使用する

Corel AfterShot Pro は、カタログ内の各画像に行う編集と調整のすべてのリストを維持します。いつでも [履歴] パレットを開いて、アクティブバージョンに行った変更を確認することができます。

[ファイル フォルダー] モードで作業している場合、履歴パレットには現在のセッションの編集だけが含まれており、以前の編集は維持されません。



履歴パレット

履歴パレットを開くには

- [表示] メニューから、[履歴] をクリックします。

履歴パレットで編集を確認するには

- [履歴] パレット内で、リスト内の編集している操作をクリックします。写真が一時的に写真の状態をその編集している操作の側に表示します。選択した操作と最新の編集の間に行った編集を非表示します。

最後の編集手順に戻るには、リスト内の最後の手順をクリックします。

外部画像エディターで写真を編集する

他の画像エディターで写真を編集することができます。いつでも Corel AfterShot Pro から画像エディターを開くことができます。設定にリンクする画像エディターを設定することができます。詳細については、「外部エディターの設定」を参照してください。

外部画像エディターに写真を開くには

- [サムネイル パネル] 内で、サムネイルを右クリックするか、**Control** キーを押してクリックして、[外部エディターで編集]を選択します。

ヒント：メニュー バーから、[編集] > [外部エディターで編集] の順に選択して外部エディターを使用することができます。

整理、キーワード、メタデータ

この章では、Corel AfterShot Pro のメタデータに行いて説明します。

写真のメタデータ、またはピクチャの情報は、画像をより速く簡単に検索および見つけることを可能にします。メタデータは、時間、日付、露出、シャッター速度、絞りなどのカメラで記録されたデータに関する情報を表します。、被写体、撮影場所、作成者の説明を記録する独自のメタデータを写真に追加して、クライアント情報を追加することができます。

メタデータの種類

一部のメタデータは標準化されており、さまざまなデバイスとソフトウェアで利用することができます。EXIF と IPTC は最も一般的なメタデータ標準です。

- **EXIF (Exchangeable Image File Format) :** データは通常、その写真で使用した設定についてカメラによって記録されます。ほとんどの EXIF メタデータは編集できません。元の写真 (マスター ファイル) の EXIF データは、マスターから派生したすべてのバージョンに使用されます (同じソース)。例題の EXIF メタデータは、シャッター速度、絞り、ISO、日付、時間です。
- **IPTC (International Press Telecommunications Council) :** 写真家によって追加されたデータは、著作権、キャプション、画像の説明など、画像コンテンツと写真家の情報を説明しています。

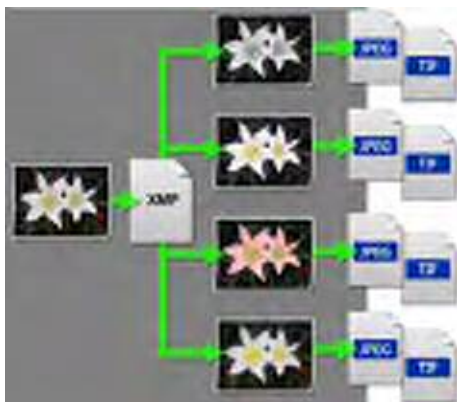
Corel AfterShot Pro は、他のメタデータにも対応しています。その一部はさまざまなアプリケーション間で共有することができます。このメタデータは、以下から構成されています。

- キーワード
- 評価
- カラー ラベル
- フラグ

バージョン

バージョンは Corel AfterShot Pro で使用され、マスター ファイルと、マスター ファイルから派生した変形を表示します。Corel AfterShot Pro で編集と画像調整を行う場合、元のマスター ファイルではなくバージョンを作成および編集をします。つまり、元の画像に影響させないで、必要に応じて 1 つのマスター ファイルからさまざまなバージョンを作成できます。

同じマスター ファイルから作成されたバージョンは同じコンテンツを共有し、スタック (グループ化して、最上位のサムネイルだけを[サムネイル パネル]に表示することができるサムネイルのセット) に表示されることができます。すべての設定とオプションは変更することができます。各バージョンで解釈、トリミング、その他画像調整を変更することができます。バージョンは独自の編集履歴を維持し、それぞれ独自のメタデータを割り当てることができます。1 つのマスター ファイルからのすべてのバージョンの設定は、1 つの Corel AfterShot Pro XMP ファイル 内にあります。



ほとんどの操作をバージョンで行うことができ、それらのほとんどは、コンテキストメニューから使用できます (サムネイルを右クリックして、または **Control** キーを押したままクリックして、[バージョン] メニュー オプションを選択)。



バージョンを作成する

Corel AfterShot Pro は、Corel AfterShot Pro で表示するフォルダー内の各マスター ファイルのマスター バージョンを自動的に作成します。写真の別のバージョンを作成するには、複数の方法があります。



上記の例では、左のサムネイルがマスター バージョンです。右側には、編集された 2 つの追加バージョンがあります。マスター サムネイルの左上隅に 番号 3 が表示されます。バージョンの合計数です。

バージョンを作成するには

- [サムネイル パネル] で、既存のバージョンを右クリックして、コンテキストメニューで [バージョン] をクリックし、以下のいずれかのオプションを選択します。
- **現在から新規バージョン** — 選択したバージョンの現在の設定と同じ設定の新しいバージョンを作成します
- **マスターから新規バージョン** — マスター バージョンの現在の設定と同じ設定の新しいバージョンを作成します
- **インポートから新規バージョン** — 選択したバージョンのインポート時の設定と同じ設定の新しいバージョンを作成します
- **デフォルトから新規バージョン** — この画像タイプのデフォルト画像設定の新しいバージョンを作成します。詳細は、「既定の設定」を参照してください。

メモ： マルチ画像ビューが有効な場合は、アクティブ バージョンのみが新しいバージョンのソースです。

バージョンが削除されるとどうなりますか？

バージョンを削除すると、そのバージョンに行われた設定が削除され、Corel AfterShot Pro 内の表示からそのバージョンが削除されます。削除するバージョンがマスター バージョンの場合、マスター バージョンはごみ箱に移動されません。バージョンの削除についての詳細は、「バージョンを削除する」を参照してください。

スタック

スタックは、類似した画像グループを表示する方法です。スタックは、[オープン] (スタック内のすべての画像を表示) か、[クローズ] (スタック内の一番上の画像だけを表示) のいずれかです。スタックはバージョンのグループで、各スタックは、1 つのカタログに含まれています。



一番上はクローズ スタックです。マスター バージョンの左上隅にあるアイコンをクリックして、スタックのオープンまたはクローズを行います。

スタックを使用する

ファイル フォルダー モードでのスタックは、1 つのマスター ファイルからの複数バージョンをグループ化するためにだけ使用されます。

[ライブラリ] でのスタックは、様々な目的で使用でき、さまざまな組織的タスクに使用することができます。例えば、爆発画像からのショットをグループ化したり、露出ブラケットから作成するためにスタックを使用することができます。グループの最高のショットを選択して最上位画像として表示することができます。または、複数画像のパノラマを作成するのに使用したり、別のアプリケーションで 1 つの画像に合成する画像セットをスタックすることもできます。さら

に、類似した画像をグループ化して画像の参照を合理化するのにスタックを使用することもできます。

既存のバージョンから新しいバージョンを作成する場合、バージョンは同じスタックに配置されます。必要に応じてスタックからそれらを削除することができます。

スタックを作成する

スタックを作成するには

1. スタックするバージョンを選択します
2. 右クリックして、[スタッキング] > [スタック] の順に選択するか、メニュー バーから [編集] > [スタッキング] > [スタック] の順にクリックします。

メモ： 1 つのフォルダーを表示する場合にのみ新しいスタックを作成することができます。カタログ フォルダーを再帰的に表示する場合はできません。

バージョンをスタックに追加する

バージョンをスタックに追加するには

1. スタックに追加するバージョンを選択します
2. 以下のいずれかを行います。
 - そのバージョンをスタック上にドラッグしてドロップします。
 - スタックを右クリックして、または Control キーを押したままクリックして、[スタッキング] > [スタック] の順に選択します。
 - メニュー バーから、[編集] > [スタッキング] > [スタック] の順に

選択します。

バージョンをスタックから削除する

バージョンをスタックから削除するには

1. スタックから削除するバージョンを選択します。
2. 以下のいずれかを行います。
 - 右クリックして、または Control キーを押したままクリックして、[スタッキング] > [スタック解除] の順に選択します
 - そのバージョンをドラッグしてスタックの外にドロップします。

メタデータを結合する

複数のスタックを結合するには

1. 結合するスタック内のバージョンを選択します。
2. 右クリックして、[スタッキング] > [スタック] の順に選択します

スタックを並べ替える

サムネイル パネル内に表示されているサムネイルを並べ替える場合、スタック内のバージョンは並べ替えられません。これは、スタックで指定できる手動の並べ替え順を維持するためで、トップ バージョンはトップに維持されます。

スタック全体は、トップ画像で指定した場所の並べ替えられたサムネイル パネルに表示されます。

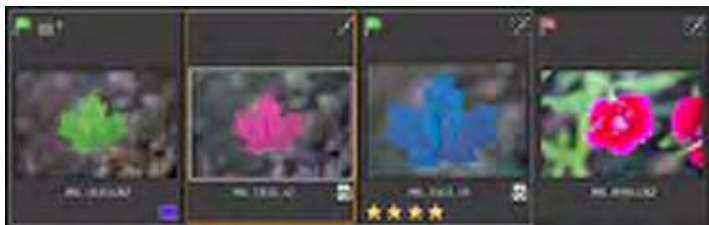
スタック内の並べ替えを変更するには、バージョンのドラッグ & ドロップやコンテキスト メニューで行うことができます。

クローズ スタック内の画像を編集する

クローズ スタック内のトップ画像を編集する場合、画像調整することで 1 つのバージョンだけが変更されます。同様に、クローズ スタックに適用されたメタデータや評価は、スタック内のトップバージョンに適用されます。

サムネイル インジケーター








サムネイル インジケーターとサムネイル自身は、画像とそれに適用されたメタデータのさまざまな情報を表示します。以下の例を参照してください。



サムネイル バッジを表示しているサムネイル パネル

最初の 3 枚の画像はすべて、同じマスター ファイルのバージョンです。それらはスタックに表示されています。アウトライン化され、スタックの一番上の画像の左上隅に「3」が表示されています。以下の表は、サムネイル インジケーターの説明です。

サムネイル	機能
	画像が複製バージョンであることを示します。
	Corel AfterShot Pro がこの画像に関連付けられたマスター ファイルを見つけられず、「オフライン」で

	あることを示します。存在する場合はプレビュー画像を表示してメタデータを編集することができますが、他のタイプを編集することはできません。
	バージョンに【フラグ (ピック)】が適用されたことを示します
	バージョンに【フラグ (却下)】が適用されたことを示します
	バージョンがトリミングされたことを示します
	バージョンに画像調整が適用されたことを示します
	星の数は、このバージョンに設定されている【評価】を示します
	適用された【カラー ラベル】を示します
	バージョンが、3 枚の画像のスタックの最上位であることを示します

並べ替えとフィルター

並べ替え

さまざまな属性別にサムネイルを並べ替えることができます。並べ替え可能な属性のリストについては、「ヘルプ」の「並べ替え」を参照してください。

カスタム並べ替え順

メタデータ (名前や評価等) に基づく並べ替え順の他に、必要に応じて画像を手動で並べ替えるようにすることができます。

カスタム並べ替えは以下の場合にのみ使用できます。

- 単一フォルダーの表示 (再帰的でない)
- とフィルターが無効な場合

カスタム並べ替えを画像に適用するには


1. 1 つのフォルダーを選択し、フィルターを無効にし、再帰的なフォルダー参照をオフにします。
2. 次に、並べ替えを **[カスタム]** に切り替えます。
3. 必要な順番にサムネイルをドラッグします。

フィルター

サムネイルをフィルターして一時的に **[サムネイル パネル]** から一時的にそれらを削除し、画像の小さいセットに集中できるようにします。「3 星、またはそれ以上の評価」などのような簡単なフィルター ルールを使用したり、もっと複雑なフィルターを使用することができます。



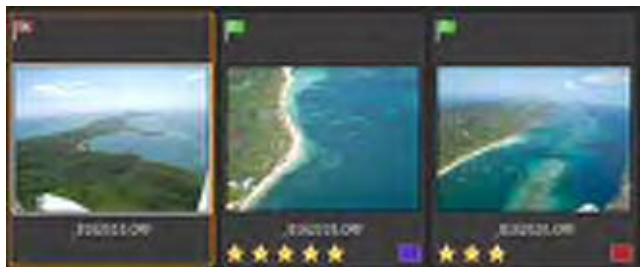
画像をフィルターするには

1. フィルターする画像が **[サムネイル パネル]** に表示されているか確認します。
2. AfterShot Pro ツールバーで、**[フィルター ツールを表示]** ボタン  をクリックします。
3. 以下のいずれかの設定を変更します。
 - **[評価]**、**[ラベル]**、および **[フラグ]** のチェックボックスは、これら項目のフィルターを有効または無効にし、右のドロップダウン メニューとボタンでは、その条件と表示方法を選択します。
 - **選択したバージョンを常に表示** — 現在選択されている画像にフィルターの結果を追加します。このチェックボックスの選択を解除すると、フィルター結果のみが **[サムネイル パネル]** に表示します。
 - **上記全ての条件が必要** — **[評価]**、**[ラベル]**、**[フラグ]** のすべての条件が **[サムネイル パネル]** に表示されるこれら画像の順に一致することを要求します。これは、AND 検索と同じです。このオプションが選択されていない場合は、いずれかの条件に一致しているバージョンが **[サムネイル パネル]** に表示します。

メモ： **[評価]**、**[ラベル]**、**[フラグ]** のチェックボックスの選択が解除されるまでフィルターが維持されます。

ラベル、評価、フラグ

カラー ラベル、星評価、フラグは、最も速く検索することができる方法です。以下の画像は、カラー ラベル、評価、フラグが適用されているいくつかのサムネイルです。




カラー ラベル

カラー ラベルは、画像を視覚的に分類します。さまざまなカラー ラベルに割り当てられた画像を瞬時に確認することができます。5 つのカラー ラベル オプションとラベルなしがあります。カラー ラベルは、目的別の画像を表したり、ステータスを変更するのに通常使用されます。例えば、**[赤のカラー ラベル]**は、後処理や深刻なレタッチを必要とする画像に割り当てます。**[青ラベル]**は、パノラマやその他連続写真の一部である画像に割り当てます。

星評価

星評価は、速く最適な画像を検索するのに適しています。評価をカタログ内の画像に割り当てます。最適な画像だけを速く選択するか、フィルターすることができます。通常、反復処理に評価を割り当てるのに便利です

星評価を割り当てるには

1. **[サムネイル パネル]** で、評価する画像を選択します。
2. 以下のいずれかを行います。
 - トップ ツールバーのいずれかの星評価  をクリックします。
 - **CTRL + [1、2、3、4、または 5]** を押します。

フラグ

バージョンにピックや却下としてフラグを付けるか、フラグをクリアすることができます。バージョンにフラグを付けると、カタログ内の画像を速く表示することができます。ピック フラグを使用して、編集中の画像をマークしたり、終了した画像からフラグを削除したりすることができます（同様にラベルを適用）。または、類似したコンテンツのある複数の画像にフラグを付けると選択や比較が容易になるので、最高の画像を選択することができます。

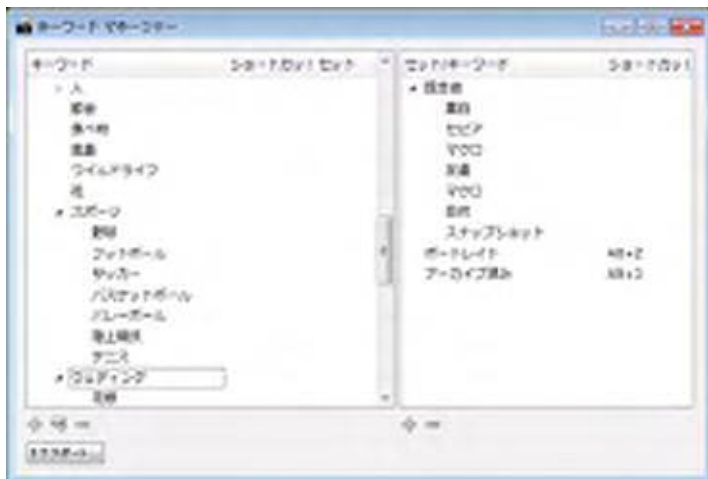
画像にフラグを付けるには

1. [サムネイル パネル] で、フラグを付ける画像を選択します。
2. 以下のいずれかを行います。
 - トップ ツールバー から [フラグ (ピック)] または [フラグ (却下)] のいずれかのボタンをクリックします。
 - サムネイルをクリックして、トップ ツールバーにある [フラグ (ピック)] ボタンをクリックするか、「.」(ピリオド キー) を押します。写真を却下としてマークするには、[フラグ (却下)] ボタンをクリックするか、「,」(コマン キー) を押します。

キーワードを使用する

キーワードは、画像ファイルに関連付ける単語です。それらは、必要な画像を多数の画像から検索するのに便利です。標準キーワードまたはカスタム キーワードを使用することができます。例えば、画像コンテンツ、クライアントやジョブ、または撮影した場所を識別するためにキーワードを追加することができます。

Corel AfterShot Pro でキーワードを割り当てるには、[キーワード] セクションでキーワードを入力するか、[キーワード マネージャー] に追加したキーワードを割り当てて、[キーワード セット] セクションでそれらを選択して適用します。いつでも画像からキーワードを削除したり、キーワード マネージャーからキーワードやキーワード セットを削除することができます。さらにキーワードやキーワード セットにショートカットを割り当てることもできます。



キーワード マネージャーでは、キーワードを階層とキーワード セットに組織化することができます

キーワード セクションで入力してキーワードを割り当てるには

1. [サムネイル パネル] で、キーワードを追加する画像を選択します。
2. [ツール パネル] で、[メタデータ] タブをクリックします。
3. [キーワード] セクションで、割り当てるキーワードを入力します。以下の

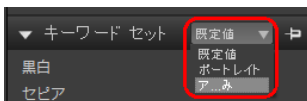
構文を使用します。

- キーワードの区切りにコンマ (,) を使用します (例: Mom, Paris, vacation)
- キーワードのサブカテゴリ (階層) を作成するにはセミコロン (;) を使用します (例: Travel; France; Paris)

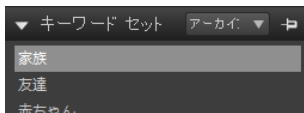
4. **Enter** キーを押します。

キーワード セットから選択してキーワードを割り当てるには

1. [サムネイル パネル] で、キーワードを追加する画像を選択します。
2. [ツール パネル] で、[メタデータ] タブをクリックします。
3. [キーワード セット] セクションで、タイトル バーのドロップダウン メニューからキーワードを選択します。






4. [キーワード セット] セクションのメイン領域でキーワードをクリックして選択した画像に適用します。




キーワード セットを作成するには

1. [ツール パネル] で、[メタデータ] タブをクリックします。
2. [キーワード セット] セクションで、[管理] ボタンをクリックします。
3. [キーワード マネージャー] の左ペインで、以下のいずれかを行います

す。

- セットに追加する既存のキーワードを見つけます。
- 既存の階層のサブカテゴリとしてキーワードを追加します。例えば家族の名前を追加するには、[テーマ] > [人] > [家族] の順にクリックして、[子キーワードを追加] ボタン  をクリックします。名前を入力して、[家族] のサブカテゴリとして追加します。
- [キーワードを追加] ボタン  をクリックし、キーワードを入力して新しい階層を作成します。サブカテゴリを作成するには、[子キーワードを追加] ボタン  をクリックします。

4. セットにすべてのキーワードがあることを確認したら、右パネルの下の [セットを追加] ボタン  をクリックして、キーワード セットの名前を入力します。任意の名前を入力します。既存のキーワードに合わせる必要はありません。
5. 左ペインのキーワード リストから、右ペインのセット名にキーワードをドラッグします。ドラッグしたキーワードがセット リストに表示されます。階層の場所に関係ありません (階層にはまったく影響しません)。
6. [閉じる] ボタン ([キーワード マネージャー] ウィンドウの最上位) をクリックします。
セットが [キーワード セット] ドロップダウン メニューに表示されます。

画像からキーワードを削除するには



1. [ツール パネル] で、[メタデータ] タブをクリックします。
2. [サムネイル パネル] で、画像を選択します。
3. [キーワード] セクションで、削除するキーワードを選択して、[削除] を押

します。

メモ： キーワードの削除時、キーワードに関連付けられた階層全体を削除する必要があるか確認するために他の階層設定を調べます。



キーワードマネージャーからキーワードやキーワードセットを削除するには

1. [キーワード セット] セクションで、[管理] ボタンをクリックします。
2. [キーワード マネージャー]、以下のいずれかを行います。

- 左ペインでキーワードをクリックし、[キーワードを削除] ボタン  をクリックします。
- 右ペインでキーワード セット名をクリックし、[セットを削除] ボタン  をクリックします。


ショートカット キーをキーワードやキーワードセットに割り当てるには


1. [キーワード セット] セクションで、[管理] ボタンをクリックします。
2. [ショートカット] 列で、必要なキーワードやキーワード セットに合わせるセルをダブルクリックします。

エントリー ボックス   が表示されます。

3. キーボードで、ショートカットとして使用するキーやキーの組み合わせを押します。

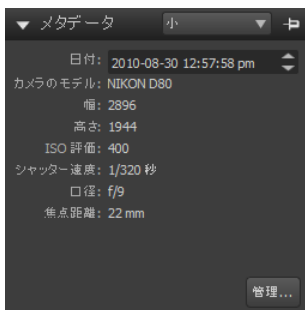
ショートカットが既に割り当てられている場合は、メッセージが表示され、キーワードの変更を確定またはキャンセルすることができます。

4. [承認] アイコン  をクリックして、ショートカットを適用します。

ヒント：[削除] アイコン  をクリックしてキーワードやキーワード セットからショートカットを削除することができます。

メタデータを使用する

Corel AfterShot Pro には、IPTC 4 XMP メタデータ、EXIF、その他メタデータを追加、編集、表示する必要があるすべてのツールが装備されています。このメタデータのほとんどは、[参照パネル] で使用できるので、特定の場所で撮影された画像、特定の人によって注釈が付けられた画像、またはメタデータでラベル化された画像を簡単に検索することができます。



Corel AfterShot Pro のメタデータはいくつかのグループに分けられているので、簡単にメタデータを表示および使用できるようにすることができます。必要に応じて追加のメタデータのグループを作成して、必要な情報だけを表示または編集することができます。

メタデータを表示する

[メタデータ] タブを [ツール パネル] から選択し、表示するメタデータ グループをメタデータ ツールの上部にあるドロップダウン メニューから選択します。

メタデータを編集する

メタデータ ツールに表示されているメタデータ フィールドのすべては、編集する見出しの右をクリックして有効にします。シャッター速度や絞りなどの EXIF 情報のように、メタデータのほとんどのタイプは読み取り専用です。その他メタデータには、キャプションを入力するテキスト ボックスや日付/時間エディターのような、さまざまな編集方法があります。

メタデータの編集は、アクティブ バージョンだけに影響します。

メタデータ セットを管理する

新しいメタデータ セットの作成や既存のメタデータ セットの編集により、必要なメタデータのみを容易に表示および編集することができますようになります。メタデータ ツールの右下にある [管理] をクリックして、メタデータ マネージャーを開きます。左の列には、Corel AfterShot Pro で使用できるすべてのメタデータ エントリーがリストされます。右列には、メタデータ セットと現在のコンテンツがリストされます。

メタデータをメタデータ セットに追加するには

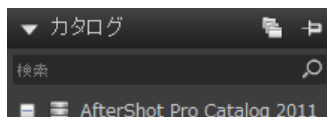
- 左の列でメタデータ エントリーを選択し、右の列のメタデータ セットにドラッグします。

メタデータを使用して写真を見つける

メタデータを画像に割り当てると、画像の検索か、メタデータ ブラウザーを使用して、画像をより簡単に見つけることができます。どちらの機能も Corel AfterShot Pro のライブラリとカタログを使用する必要があり、開いているカタログ内の画像のみを見つめます (カタログ ブラウザーで表示されるもの)。

画像の検索

探しているキーワードまたはメタデータが正確に分かっている場合は、そのコンテンツのカタログを検索できます。検索する条件を参照パネルのカタログ セクションの上部にある検索ボックスに入力して、**Enter** キーを押して検索を実行します。検索結果は サムネイル パネルに表示されます。



画像の参照

参照パネルを使用すると、関心のある画像を高速かつ効果的に探すことができます。また、メタデータ ブラウザーを使用すると、特定の日付に、特定のカメラで撮影されたすべての画像、または最も一般的な撮影情報のメタデータ フィールドまたはキーワードの組み合わせで撮影されたすべての画像を素早く探すことができます。メタデータ カテゴリ 名の横のカッコ内の数値は、そのメタデータ エントリーに含まれているバージョンの数を表します。これにより、上で説明したように画像の検索がより正確にコントロールできます。



カタログのリンク

メタデータ ブラウザー内のコンテンツとカウントは、メタデータ ブラウザーの上部にある [カタログのリンク] チェックボックスによって以下のように決定されます。

- **チェックボックスを解除すると：**メタデータ ブラウザーは、ライブラリで現在開いているすべてのカタログのコンテンツとカウントを表示します。
- **チェックボックスを選択すると：**メタデータ ブラウザーは、カタログ ツールで選択されたカタログとフォルダー内のコンテンツとカウントのみを表示します。これは、単一のフォルダー、複数のフォルダー、または検索の結果にある画像のメタデータ表示を簡潔にできます。

この設定では、関心のあるカタログの一部のメタデータをフィルターを使用して絞り込むことができます。例えば、クライアント別に整理されたライブラリ フォルダがある場合、ライブラリ ブラウザー内の特定クライアントのフォルダーを選択できます。[フォルダーのリンク] を選択すると、そのクライアントの撮影画像のキーワード、カメラ、日付、その他のメタデータだけが表示されます。

絞り込み

多数の絞り込みを希望する順序で追加できます。例えば、評価のメタデータセクションから 3 星、4 星、および 5 星を選択して、絞り込みすることができます。

ます。これにより、最高の画像(3 星以上のタグを付けた画像)のみが表示されます。続いて、日付/時刻セクションから年と月を選択し、[絞り込み] を再びクリックします。これで、特定の日時範囲にある希望の最高の画像のみが表示されます。3 星以上の画像だけでなく、同じ日時範囲にあるすべての画像を表示しなくなった場合は、評価絞り込みエントリの横にある [X] ボタンをクリックして、その絞り込みステップを削除します。

絞り込みした項目は、メタデータ ブラウザーで強調表示され、メタデータ ブラウザーのライブラリの一部のみがメタデータ ブラウザーのカウントとコンテンツにリストされていることを示します。

画像を出力する

Corel AfterShot Pro は非破壊なので、Corel AfterShot Pro 内で画像に行った調整は、新しい画像に書き出してからこれら調整を他のアプリケーションで表示することができます。出力画像を作成する処理は高速であると同時に、パワフルで、非常に柔軟です。

写真を出力するには、以下の 2 つのメイン操作があります。

- **名前を付けてファイルを保存** — 選択した写真 (バージョン) を出力するのに **[名前を付けてファイルを保存]** コマンドを使用することができます。この方法は事前設定されたバッチ設定を使用しないので、出力する度に、必要な設定を選択します。
- **バッチ** — 設定のように、バッチは事前定義された出力設定一式を使用して、写真 (バージョン) を出力します。バッチを必要に応じて設定できるので、出力の度にフォルダー、画像形式、名前変更形式等の設定を選択しないで非常に速く多数の画像を処理できます。これは通常、1 つのファイルを出力する場合でも、**[保存]**より速く簡単に使用することができます。

出力タイプ

使用できる 3 つの出力タイプは、**[ファイル]**、**[コピー]**、**[ギャラリー]**です。

- **[ファイル]** 出力は、最も一般的に使用される出力タイプです。例えば、これは、RAW ファイルを JPEG ファイルとして出力する場合に使用するファイルタイプです。この出力タイプは、選択する形式で新しい画像を作成します。調整を適用して画像のサイズを変更します。事前定義されたフォルダーに保存するか、名前変更形式を使用して新しいファイル名とフォルダーを指定することができます。
- **[コピー]** 出力 (バッチのみ) は、メモリーカードからコンピューターの特定の

場所に画像を転送したり、ファイルをライブラリーに一度にすべてインポートするのに適しています。この出力タイプは、ソース ファイル (マスター ファイルとサイドカー ファイル) を選択したフォルダーにコピーします。コピーされると自動的にファイルがインポートされ、カタログとライブラリーが更新されます。

- **[ギャラリー]** 出力 (バッチのみ) は、画像と HTML ファイルを作成します。写真の Web ギャラリーを作成することができます。すべてのファイルを Web サイトへアップロードするだけです。

名前を付けてファイルを保存を使用する

[名前を付けてファイルを保存] コマンドを使用して、バッチ (事前に定義された出力設定のセット) を使用しないで写真を出力することができます。

[バッチ出力設定] ダイアログボックスが表示されます。ダイアログボックスには、**[名前を付けてファイルを保存]** のワークフローにだけ適用できる設定が表示されます。

名前を付けてファイルを保存を使用して出力するには

1. **[サムネイル パネル]** 内で、出力する写真を選択します。
2. メニューバーで、**[ファイル]** > **[名前を付けてファイルを保存]** の順に選択するか、**CTRL + S** を押します。
3. **[バッチ出力設定]** ダイアログボックス内で、**[JPEG]** または **[TIFF]** を **[画像の種類]** ドロップダウン メニューから選択します。
4. (オプション) 必要に応じてその他の設定を指定します。バッチ出力設定ダイアログボックスの設定についての詳細は、「**画像を出力する**」を参照してください。
5. JPEG ファイルの場合、**[品質]** ボックスに値を入力することができます。
6. 保存する画像のファイルの種類 (TIF、JPG 等)、そのオプション、このエクス

ポートするファイルに適用する他のオプションを選択します。

7. 準備が完了したら [OK] をクリックして、選択したすべてのファイルを選択したフォルダーに選択した設定と一緒に書き込みます。

バッチを使用する

バッチを使用して、1 つ、または複数の写真 (バージョン) を標準ファイル形式へ出力することができます。バッチは、バッチ名をクリックするだけでお気に入りの設定で出力できるので、時間を節約することができます。例えば、Corel AfterShot Pro には、[16 ビット TIFF]、[8 ビット TIFF]、[ダウンロード]、[ギャラリー]、[JPEG フル サイズ]、[JPEG プルーフ] が含まれています。

ダウンロードの特徴

ダウンロードは、カメラのメモリーからコンピューターへコピーすることができる「コピー」タイプの独自のバッチです。また、新しいフォルダー構造へコピーして、ファイルの名前を変更することもできます。

バッチを使用して出力するには

1. 1 つ、または複数のサムネイルを選択します (サムネイル パネル 内で)
2. 以下のいずれかを行います。
 - [出力] タブをクリックして、[バッチ出力設定] セクションで、バッチ名の上にサムネイルをドラッグします。



- **[バッチ出力設定]** セクションで、バッチに関連付けられたショートカットキーを押します。

各バッチのショートカット キーは、**[バッチ出力設定]** セクション内の各バッチ名の右に表示されます。例えば、**F** キーを押して、選択したバージョンを **[JPEG フル サイズ]** バッチに送信します。

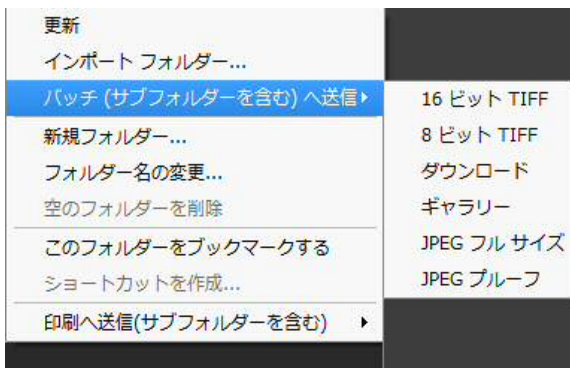
フォルダーを伴うバッチを使用する

バッチを使用して画像をフォルダー全体を出力することができます。

バッチを使用して画像のフォルダーをするには

1. 参照パネルで、**[ライブラリ]** タブ、または **[ファイル フォルダー]** タブをクリックして、フォルダーに移動します。
2. フォルダーを右クリックして、**[バッチへ送信]** (**サブフォルダーを含む**) を選択して、バッチ名を選択します。

[目的の場所を選択] ダイアログボックスが表示されたら、フォルダーに移動して、**[フォルダーを選択]** をクリックします。




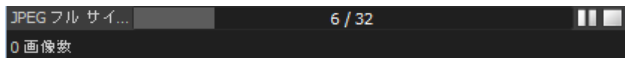
一時停止 / 再開

バッチを一時停止してバッチの処理を停止します。現在のバージョンの処理が終了すると停止します。

一時停止 / 再開の状態を切り替えるには、一時停止するバッチの横の進捗バー上の一時停止ボタンをクリックします。Corel AfterShot Pro は一度に複数の画像を処理するので、その場合の一時停止は現在処理中の画像を停止しません。従って、バッチが完全に一時停止する前にいくつかの画像処理が行われます。

バッチ処理を一時停止/再開させるには


- アプリケーション ウィンドウの左下隅にある [一時停止] ボタン  をクリックします。ボタンをもう一度クリックすると、処理が再開します。



バッチを停止する

バッチを停止すると、ファイルの変換処理は一時停止します。Corel AfterShot Pro は一度に複数の画像を処理するので、実行しているバージョンの終了時にバッチが停止します。

バッチを停止するには

- アプリケーション ウィンドウの左下隅にある [停止] ボタン  ([一時停止] ボタンの右側) をクリックします。

バッチを管理する

Corel AfterShot Pro には、さまざまな共有操作を実行する事前定義されたいくつかのバッチが付属しています。必要に応じてこれらを編集または調整したり、ワークフローに合うカスタム操作を実行する独自のバッチを作成することができます。このセクションの手順については、[出力] タブを参照パネルから選択してください。

以下にリストされているように、バッチ上の多数の操作は、[バッチ出力設定] リスト内を右クリックして表示されるコンテキスト メニューから使用できます。

新しいバッチを作成したり、バッチを複製することができます。場合によっては、はじめから新しいバッチを作成する代わりに既存のバッチを複製して、この新しいコピーに変更する方が簡単な場合があります。既存バッチの名前を変更することもできます。

バッチにショートカット キーを割り当てることができます。ショートカット キーをバッチに割り当てると、そのバッチに関連付けられたショートカット キーを押すだけでそのバッチに現在選択されているバージョンを追加できます。例えば、デフォルトでは、「F」キーは「JPEG フル サイズ」バッチに割り当てられています。いつでも Corel AfterShot Pro では、「F」を押すだけで選択した画像を

「JPEG フル サイズ」バッチに追加して JPEG 出力画像を作成することができます。

バッチを作成するには

1. **[出力]** タブをクリックします。
2. **[バッチ出力設定]** セクションの空白部分を右クリックして、コンテキストメニューから **[新規]** を選択します。
3. **[バッチ出力設定]** ダイアログボックス内で、**[バッチ名]** ボックスに名前を入力します。
4. バッチに使用する設定を選択します。

バッチを複製するには

1. **[出力]** タブをクリックします。
2. **[バッチ出力設定]** セクション内の名前を右クリックして、コンテキストメニューから **[複製]** を選択します。

バッチを削除するには

1. **[出力]** タブをクリックします。
2. **[バッチ出力設定]** セクション内の名前を右クリックして、コンテキストメニューから **[削除]** を選択します。

バッチの名前を変更するには

1. **[出力]** タブをクリックします。
2. **[バッチ出力設定]** セクション内の名前を右クリックして、**[名前の変更]** を選択して、バッチの新しい名前を入力します。

ヒント：[**バッチ出力設定**] セクション内のバッチ名をダブルクリックして（ゆっくり）、新しい名前を入力し、終了したら **Enter** キーを押します。

バッチにショートカット キーを割り当てるには

1. [**出力**] タブをクリックします。
2. [**バッチ出力設定**] セクション内のバッチ名を右クリックして、コンテキストメニューから [**ショートカットを設定**] を選択します。
3. ショートカットに使用するキーやキーの組み合わせを押します。ショートカットが、[**ショートカットを設定**] ダイアログボックスに表示されます。

バッチの設定を理解する

ファイルをバッチとして出力する場合は、そのバッチの設定を指定できます。使用できる設定はバッチのタイプによって異なります。例えば、「JPEG フル サイズ」バッチの出力を選択した場合と、「ギャラリー」バッチの出力を選択した場合とでは、設定は大きく異なります。

[**バッチ出力設定**] ダイアログボックスには複数のタブがあり、1 つのバッチ内に複数の出力タイプを作成できます。例えば、小さなサムネイル画像、大きな Web 表示可能画像、およびフル サイズ TIFF 画像を 1 回のクリックで作成できます。



[バッチ出力設定] ダイアログボックス

[バッチ出力設定] ダイアログボックスには、[画像の種類]、[出力名と場所]、[画像サイズ]、[追加の画像設定]、[メタデータ]、[後処理]などの設定が含まれています。詳細については、以下の項目の説明を参照してください。

バッチ名

Corel AfterShot Pro のバッチ出力設定では、以下に示すコントロールは共通です。

- **バッチ名** — 使用するバッチを識別します。また、新規バッチを作成する場合の入力フィールドになります。

- **出力** — バッチを実行する場合に、複数の出力を追加できます。ファイル、コピー、ギャラリーの 3 つの出力オプションから選択できます。各出力タイプにタブが表示されます。

目的の場所

[目的の場所] は、ファイルが保存される場所を決定します。以下のオプションから選択できます。

- **確認** — 出力するごとに場所を確認されます ([目的の場所を選択] ダイアログボックス)。セッション全体で「目的の場所」を 1 回だけ設定したい場合は、[1 回だけの確認] チェックボックスを有効にします。
- **固定** — 出力ファイルを毎回特定のフォルダーに保存します。目的の場所を選択するには、[参照] ボタンを使用します。
- **相対** — 出力するマスター ファイルを含んでいるフォルダーに関連するテキストボックスで指定したフォルダーに出力ファイルを保存します。例えば、テキストボックスに「変換済み」と入力すると、このバッチは元のマスター ファイルが保存されているフォルダーのそれぞれに「変換済み」というサブフォルダーを作成します。出力ファイルは「変換済み」フォルダーに保存されます。



画像の種類の設定

[画像の種類] では、ファイル形式の種類を選択できます。JPEG を選択する場合は、[品質] ボックスに値を入力できます。

出力名と場所の設定

このセクションは、出力するファイルに Corel AfterShot Pro が名前を付けるやり方をコントロールします。

ドロップダウン リストから予め設定された名前の変更形式を選択するか、ドロップダウン リストの下のボックスに形式コードを入力できます。名前変更形式についての詳細は、「名前変更形式」を参照してください。

出力名と場所

既定値 ▼ +

[vname]

サブフォルダーに保存

既存の出力ファイルに上書きする

毎回ジョブ名を確認

サブフォルダーに保存では、同じバッチにある異なる出力タブの画像が別のフォルダーに出力されるように、サブフォルダーを指定できます。例えば、1 つのバッチを使用して、1 つのタブでサムネイルを作成し、それを「thumbs」というサブフォルダーに保存して、フル サイズ JPEG 画像を別のフォルダーに保存できます。このフォルダーは、そのバッチ全体の目的の場所と相対的に指定されます。

既存の出力ファイルに上書きする — 同じ名前を持つ既存のファイルを、最新のバッチで作成されたファイルで置き換えます。

毎回ジョブ名を確認 — 名前変更形式の一部として [jobname] 名前変更変数を使用する場合、このオプションは、メッセージがこのバッチに送信される度にジョブ名を選択するように要求します。このオプションを選択しないと、バッチの最後のジョブ名が使用されます。

画像サイズの設定

このセクションでは、出力画像のサイズを変更し、拡大縮小の画質を選択できます。

画像サイズ

正常

サイズを変更しない 拡大しない

幅/高さのサイズを変更 幅 640

長い/短いサイズを変更 高さ 480

- **標準 / プルーフ** — 画像を拡大縮小するための画質を選択します。「プルーフ画質」は、元の画像の半分の高さと同幅の画像を生成します。
- **サイズを変更しない** — 出力画像は、元の画像ファイルと同じピクセルサイズとなります。
- **幅/高さのサイズを変更** — 出力画像は、指定された寸法内に合うようにサイズ変更されます。右側のボックスに最大ピクセル幅とピクセル高さを入力します。
- **長い/短いサイズを変更** — 出力画像は、指定された寸法内に合うようにサイズ変更されます。右側のボックスに出力画像の長い辺と短い辺の最大値をピクセルで入力します。

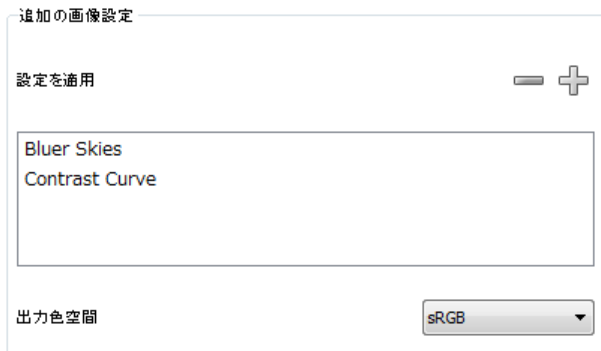
メモ： 長い/短いサイズの変更では、画像の横長/縦長の形式に関係なく、出力画像が適合する非正方形の境界枠を指定できます。


- **拡大しない** — 指定した寸法に合わせたサイズ変更と同じですが、小さな画像は指定した寸法に合わせるために拡大されません。

メモ： サイズ変更についての詳細は、「[画像サイズについて](#)」を参照してください。

追加の画像設定

このセクションでは、出力画像を作成する前に、画像に設定やメタデータを適用できます。1 つのパッチに複数の設定を適用できます。設定は表示される順に適用されます。リストで設定をドラッグして順序を変えることができます。



[設定を追加] ボタン  — 設定を追加して出力画像に適用できます。

[選択した設定を削除] ボタン  — 設定を削除できます。

出力色空間 — 色空間を変換できます。これは、出力画像のカラー、コントラスト、全体的な外観に影響を与える可能性があるため、ソフト プルーフィングを行って、特定の画像で影響をプレビューすることをお勧めします。

メタデータの設定

このセクションでは、出力するファイルに含まれたメタデータをコントロールできま

す。また、DPI を設定できます。

メタデータ

<input checked="" type="checkbox"/> 埋め込み EXIF	<input checked="" type="checkbox"/> 埋め込み XMP
<input checked="" type="checkbox"/> 埋め込み IPTC	<input checked="" type="checkbox"/> 埋め込み著作権
<input checked="" type="checkbox"/> 埋め込みカラー プロファイル	DPI <input type="text" value="300"/>

埋め込み EXIF — シャッター速度、絞り、その他の撮影データを含む EXIF データを出力ファイルへ書き込みます。

埋め込み XMP — メタデータを XMP/IPTC 形式および従来の IPTC 形式の両方で出力ファイルに書き込みます。

埋め込みカラー プロファイル — カラー プロファイルを出力ファイルに含めます。

埋め込み著作権 — EXIF または XMP の埋め込みオプションに関係なく、著作権情報を含めます。

DPI — ファイルの DPI 値を入力できます。これは、結果の画像のピクセルサイズやファイル サイズに影響を与えません。サイズ変更についての詳細は、「[画像サイズについて](#)」を参照してください。

後処理の設定

このセクションでは、各画像が変換された後に、追加の調整を行うことができます。

後処理

出力シャープニング	なし	<input type="button" value="⋮"/>
<input type="checkbox"/> プログラムから開く	<選択なし>	<input type="button" value="⋮"/>

出力シャープニング — 画像に追加のシャープニングを適用します。出力シャープニングは、標準の USM 処理か、アンシャープ マスク シャープニングです。

プログラムから開く — 出力処理の終わりに、外部アプリケーションを起動します。

Web ギャラリー

Corel AfterShot Pro では、画像を Web ギャラリーで共有することができます。[ギャラリー] タブのいくつかの設定は、他のバッチ設定と共通です。詳細については、「[バッチの設定を理解する](#)」を参照してください。



ギャラリーの設定には次の設定があります。

- **ギャラリーのタイプ** — レイアウトを選択できます。
- **ギャラリーの見出し** — 各ギャラリー Web ページの上部のラベルを設定します。

- **ギャラリーのタイトル** — Web ブラウザーのタイトル バーにギャラリーのタイトルを設定します。
- **メタデータを表示** — 各画像の詳細ページに含めるメタデータ セットを選択します。
- **サムネイル画像のサイズ** — サムネイル画像の高さと幅を設定します。
- **プレビュー画像のサイズ** — プレビュー画像の高さと幅を設定します。

バッチを使用してファイルをコピーする

[**バッチ出力設定**] ダイアログボックスでコピー設定を使用すると、マスターファイルと関連するすべてのサイドカー ファイルをコピーできます。ファイルは希望する目的の場所に保存できます。

バッチを使用してファイルをコピーすると、以下のいずれかを行うことができます。

- メモリー カードやその他の記憶装置から写真を転送する
- アーカイブする
- ファイルをバックアップする

また、コピーするときにインポートを選択できるので、作業ステップを減らすことができます。

1 つのバッチでコピーすると、選択したすべてのマスター ファイルがコピーされるとともに、任意のバージョン、編集、およびメタデータについてのデータを含んだサイドカー ファイルもコピーされます。


コピーの一部の設定は、他のバッチ設定と同じです。詳細については、「**バッチの設定を理解する**」を参照してください。以下の設定は、[コピー] タブのページにのみあります。

出力名と場所 — *出力名と場所の設定*セクションで説明された内容と同じ

で、以下の追加項目があります。

- **元のファイルを削除** — コピーする画像は、新しい場所に正常にコピーされると、削除されます。すべての画像ファイルと関連するサイドカー ファイルは、ダイアログボックス上部の **[目的の場所]** セクションで指定された場所にコピーされます。

カタログにインポートする — このチェックボックスを有効にすると、画像はコピーされた後に Corel AfterShot Pro のカタログにインポートされます。以下のインポート オプションが使用できます。

- **インポートの場所** — カatalogの場所を選択します。
- **確認** — 画像をこのバッチに初めて送る場合に、カタログの場所を尋ねるダイアログを表示したい場合は、チェックボックスを有効にします。選択した場所にすべての画像がインポートされます。
- **[フォルダーを選択してください]** ボタン  — **[確認]** が有効でない場合は、このボタンをクリックしてフォルダーを選択できます。
- **キーワード** — インポートするときに、すべての画像に付加されるキーワードを追加できます。
- **設定を適用** — 画像をインポートするときに、画像に設定を適用できます。詳細については、「**設定**」を参照してください。

印刷設定

Corel AfterShot Pro では、画像をローカルに設置されたプリンターや PDF ファイルへ出力することができ、柔軟にレイアウトを制御できます。

Corel AfterShot Pro の印刷を理解する

Corel AfterShot Pro の印刷は印刷バッチで処理されます。各印刷バッチは、特定のレイアウト タイプとその他印刷オプションが設定されます。これは 1 回印刷を設定するだけで繰り返し同じ設定を簡単に利用することを可能にするので、複数の画像の印刷を速く簡単に行うことができます。

出力タブの印刷リストに表示されているいずれかの印刷バッチをダブルクリックすると、以下の印刷設定ウィンドウが表示されます。



印刷バッチを使用する

印刷ジョブとページの区切りを制御する

コンタクト シートのように、印刷レイアウトに 1 ページに 1 画像以上含む場合、印刷開始時とページ区切りの制御方法を理解することが重要です。これらの操作は、印刷設定パネルの [連続印刷] チェックボックスによって制御されます。

連続印刷が有効な場合

連続印刷が有効な場合、Corel AfterShot Pro は、1 ページに一杯になるように印刷バッチに画像が十分追加されると、印刷ジョブの処理を開始します。追加の画像がバッチに追加されると、次のページに移動し、ページが一杯になるまでプリンターに送ります。ページ レイアウトが 1 つの画像だけを含む場合、画像一式を連続印刷バッチへ送ると、それらを *直ぐに処理して*、それらのページをプリンターへ送ります。印刷レイアウトが 1 ページに複数画像がある場合は、最後のページはプリンターに自動的に送られない場合があります。Corel AfterShot Pro はページが一杯になるまで待ち続けます。連続印刷バッチの部分ページを印刷するには、[印刷設定] ウィンドウを開いて、右下にある [印刷] をクリックします。

このモードでは、バッチに画像を送る前に、プリンター、ページの設定、追加の画像設定、DPI、レイアウトを設定し、正しいことを確認することが重要です。設定が正しくないと、無駄にインクや用紙を使用する可能性があります。

このモードでは、画像が印刷バッチに追加されると直ぐに画像の連続ストリームを処理することができます。これは、イベント印刷やその他高ボリューム印刷の場合に非常に便利です。

連続印刷が無効の場合

連続印刷が選択されていない場合は、Corel AfterShot Pro は、そのバツ

ちに送信するすべての画像を待ち行列に入れます。[印刷設定] ウィンドウを開いて、右下にある **[印刷]** をクリックすると、印刷が開始します。これにより、印刷するすべての画像をゆっくり選択し、印刷するページを確認し、画像の選択と印刷レイアウトに満足するまで画像の削除および追加することができます。それら画像をプリンターへ送る準備が完了している場合は、印刷設定ページの右下隅にある **[印刷]** をクリックします。選択したプリンター固有のプリンター設定のダイアログが表示されます。ここでは、**[用紙の種類]**、**[印刷品質]**、プリンターの **[色の管理]** オプションのようなオプションを設定することができます。

[印刷] をクリックして、[プリンター ドライバー] ウィンドウでその設定を承認すると、その時点で **[印刷設定]** ウィンドウにリストされているすべての画像は処理され、部分ページも含めて印刷されます。追加の画像を印刷バッチに追加する場合、印刷中か印刷が終了した場合に、これらの新しい画像は自動的に印刷されません。**[印刷]** をもう一度クリックされるまでキューに維持されます。

このモードでは、多数の画像を一緒に処理でき、1 ページに複数の画像からなるレイアウトの各バッチの終わりにページの区切りを含めます。

画像を印刷する

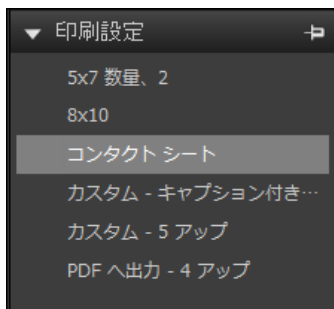
バージョンを印刷バッチに送るには

1. 1 つ、または複数のサムネイルを選択します (サムネイル パネル 内で)

2. **[出力]** タブをクリックして、以下のいずれかを行います。

- サムネイルを、**[印刷設定]** セクション内のバッチ名にドラッグします。
- **[印刷設定]** セクション内のバッチ名をダブルクリックして、**[印刷設定]** ウィンドウで必要に応じてオプションを設定し、選択したサムネイルをウィンドウにドラッグします。

- 使用するバッチにショートカット キーが割り当てられている場合は（設定されている場合は、バッチ名の左にショートカット キーが表示されます）、ショートカット キーを押します。



画像のフォルダーを印刷する

[参照パネル] で選択するフォルダー内のすべての画像を印刷することもできます ([ファイル フォルダー]、または [ライブラリ] から)。

画像のフォルダーを印刷バッチに送るには

1. [参照パネル] 内で、バッチのフォルダーを右クリックします
2. コンテキスト メニューから [バッチへ送信] を選択して、使用するバッチ名を選択します。



印刷バッチを管理する

新しい印刷バッチの作成、印刷バッチの複製、印刷バッチの削除ができます。また、印刷バッチの名前を変更することもできます。場合によっては、はじめから新しいバッチを作成する代わりに既存のバッチを複製して、この新しいコピーに変更する方が簡単な場合があります。

印刷バッチにショートカット キーを割り当てることができます。例えば、**P** キーを **5x7 数量、2** バッチに割り当てた場合、**P** キーを押すだけで選択した画像が **5x7 数量、2** 印刷バッチに追加され簡単に印刷することができます。



新しい印刷バッチを作成するには

1. [出力] タブをクリックします。
2. [印刷設定] セクションの空白部分を右クリックして、コンテキストメニューから [新規] を選択します。
3. [印刷設定] ダイアログボックスで、バッチに使用する設定を選択します。

バッチを作成すると、それが [印刷設定] セクション リストと [選択したファイルを印刷へ送信] コンテキストメニューに表示されます。そこから名前を変更することができます。

印刷バッチを複製するには

1. [出力] タブをクリックします。
2. [印刷設定] セクション内で、バッチ名を右クリックして、コンテキストメニューから [複製] を選択します。

印刷バッチを削除するには

1. [出力] タブをクリックします。
2. [印刷設定] セクション内で、バッチ名を右クリックして、コンテキストメニュー

から **[削除]** を選択します。

印刷バッチの名前を変更するには

1. **[出力]** タブをクリックします。
2. **[印刷設定]** セクション内で名前を右クリックして、コンテキスト メニューから **[名前の変更]** を選択します。
3. 印刷バッチの新しい名前を入力します。

ヒント： **[印刷設定]** セクション内のバッチ名をダブルクリックして (ゆっくり)、新しい名前を入力し、終了したら **Enter** キーを押します。

バッチにショートカット キーを割り当てるには

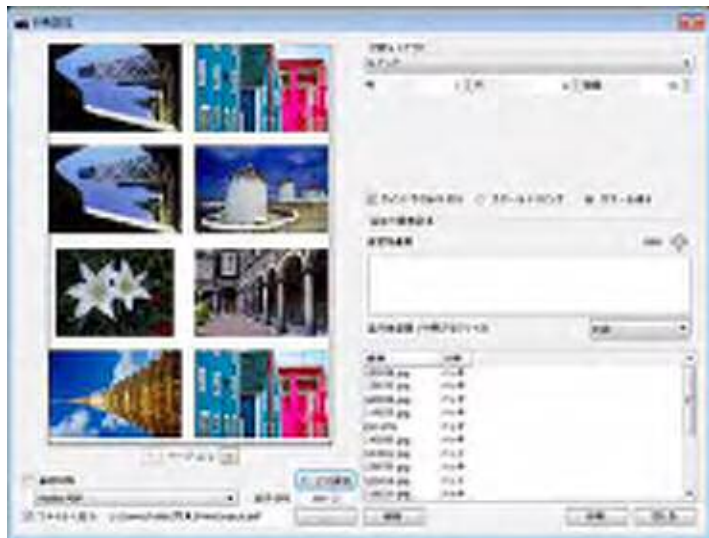
1. **[出力]** タブをクリックします。
2. **[印刷設定]** セクション内のバッチ名を右クリックして、コンテキスト メニューから **[ショートカットを設定]** を選択します。
3. ショートカットに使用するキーやキーの組み合わせを押します。ショートカットが、**[ショートカットを設定]** ダイアログボックスに表示されます。

印刷設定

Corel AfterShot Pro には、複数の異なるレイアウトオプションで設計されている複数の事前設定された印刷バッチが付属しています。必要な方法でそれらを編集または調整することができ、自身の印刷バッチを作成することができます。このセクションの手順については、**[出力]** タブを参照パネルから選択してください。

共通の印刷設定

Corel AfterShot Pro の印刷設定は、以下のようないくつかのコントロールを共有しています。



- **連続印刷** — このチェックボックスを選択すると、画像が 1 ページ全体に配置されるまでバッチに追加すると、Corel AfterShot Pro は各ページをプリンターに送信します。これは Corel AfterShot Pro 専用です。
- **ページの設定** — このボタンをクリックして用紙サイズ、レイアウト、マージンを選択します。
- **プリンターの選択** — この印刷バッチで使用するプリンターを設定します。

- **出力 DPI** — 画像をプリンターへ送信する場合に使用する DPI を指定します。300 を設定すると高画質の画像になりますが、一部のプリンターは 600 に設定した方が良い場合があります。DPI が大きくなればなるほど印刷に時間がかかり、小さな DPI は速くなり、小さいファイルを作成します (PDF へ出力する場合)。
- **ファイルへ出力** — プリンターでなく PDF ファイルへ出力する場合にこれを選択します。[...] ボックスを使用してファイル名を指定します。

索引

C

- Corel AfterShot Pro について 11
- カタログを作成する 20
- サムネイル パネル 16
- ツール タブ 16
- ブラウザー パネル 16
- プレビュー パネル 16
- 共有メタデータ 18
- 作業空間 16
- 対応 RAW ファイル形式 22

I

- IPTC 100

N

- Noise Ninja 42

P

- Perfectly Clear 39

R

- RAW ファイル対応 22

W

- Web ギャラリー出力 121

X

- XMP 18

あ

- アセット管理 11, 20, 23, 83
 - カタログを管理する 27
 - サムネイル インジケーター 90
- スタック 87
- バージョンのコピー 28
- バージョンの移動 28
- バージョンを削除する 30
- メタデータ インジケーター 90

い

- イベント印刷 126

お

- オプションのアセット管理 20

か

- カーブ 44
- カタログ 23
- カラー ラベル 94

き

- キーワード 43, 83
 - セット 95
 - マネージャー 95
 - 使用する 95
- キーワードセット 95
- キーワード マネージャー 95
- キーワードを画像に追加 43

く

クローン 69

こ

コントラスト 42

さ

サムネイル インジケーター 90

し

シャープニング 42, 51

す

スタック 87

スタックに追加する 88

スタックを結合する 89

バージョンをスタックから削除する
89

新しいスタック 88

並べ替え 89

スタックの並べ替え 89

スタックを結合する 89

スタックを作成する 88

は

バージョン

バージョンを削除する 86

新規作成 85

バージョンのグループ化 87

バージョンの作成 85

バージョンの並べ替え 91

カスタム並べ替え 92

バージョンをスタックから削除する 89

バージョンをスタックに追加する 88

バージョンをタグする 95

バージョンを却下する 95

バージョンを削除する 86

バイブランス 41

ハイライト部回復 41

バッチにホットキーを使用する 114

バッチの名前を変更する 113

バッチを一時停止する 111, 112

バッチを空にする 112

バッチを再開する 111

バッチを削除する 113, 130

バッチ画像設定 119

バッチ変換 107, 109, 112, 119
Web ギャラリー出力 121

バッチにホットキーを使用する
114

バッチの名前を変更する 113

バッチを一時停止する 111, 112

バッチを空にする 112

バッチを再開する 111

バッチを削除する 113, 130

ファイル コピー バッチ 122

フォルダーをバッチに追加する
109, 110, 128

ホットキーを割り当てる 114

画像設定 119

出力画像のサイズ変更 118

出力画像の種類 116

- バッチ変換 107, 109, 112, 119
出力画像の名前を変更する
117
新しいバッチ 113, 130
他の画像タイプへ変換する 116
複製 113, 130
- ふ**
- ファイル フォルダー モード
ファイル フォルダー モードについて
33
- フィル ライト 41
- フォルダーをバッチに追加する 109,
110, 128
- プラグイン
プラグインについて 58
プラグインをインストールする 58
- プリンターへ送信する 127
- ほ**
- ホワイトバランス 40, 49
- ま**
- マスター ファイルをコピー 122
- め**
- メタデータ 83
カラー ラベル 94
タグ 95
バージョンのタギング 95
メタデータ セット マネージャー
100
- メタデータを表示する 100
メタデータを編集する 100
画像のラベリング 94
画像の評価 94
却下 95
- メタデータ セット 100
メタデータ ブラウザー 103
メタデータの絞り込み 104
メタデータを出力する 119
メタデータ設定 75
- ら**
- ライブラリ 20
カタログ 23
カタログを管理する 27
メタデータで参照する 103
画像の検索 103
画像をインポートする 25
絞り込み参照 104
- ラベル 94
- れ**
- レイヤー 61
レベル 44
レンズ補正 54

Corel® AfterShot™Pro ユーザー ガイド

Copyright 2011 Corel Corporation. All rights reserved.

製品仕様、価格、梱包、技術サポートおよび情報（「仕様」）は、英語製品版についてのみ言及しています。その他の全バージョンの仕様（他の言語バージョンを含む）は異なる場合があります。

情報は、COREL により明示または黙示による他の如何なる保証や条件なしに「現状」ベースで提供されます。この保証には、適正品質、満足のいく品質、商業性または特定目的への適合性の保証、あるいは法律、法令、商習慣、取引などにより生ずる保証が含まれ、またこれらに限定されないものとします。提供された情報の結果やその使用に関する全リスクは、あなたが負うものとします。COREL は、あなたやその他の人または組織に対して、間接的、付随的、特殊的、または結果的損害に、それがどのようなものであれ、責任を負わないものとします。この損害には、収益や利益の損失、データの紛失または損害、その他の商業的あるいは経済的損害が含まれ、またこれに限定されないものとし、たとえ COREL が斯かる損害の可能性について通知を受けており、またそれらが予測可能であったとしても、責任を負いません。また COREL は、第三者によって行われた如何なる申し立てに対しても責任を問われないものとし、COREL のあなたに対する最大責任総額は、当該物品の購入のためにあなたが支払った費用を超えないものとします。一部の州/国では、結果的または付随的損害についての除外または制限が許可されていないため、上記の制限はあなたに適用されない場合があります。

© 2011 Corel Corporation. All rights reserved. Corel, AfterShot, Corel ロゴ、および Corel Balloon ロゴは、Corel Corporation およびその関連会社の商標または登録商標です。米国および国際著作権より、その他の商品名は各社の商標または登録商標であり、ここでの記載は識別のみを目的としています。